

斎藤茂吉記念館 年報

通巻第 40 号
2024(令和 6)年度

目 次

| | |
|---------------------------|----|
| はじめに | 1 |
| 1. 沿 革 | 2 |
| 2. 1 年のあゆみ | 5 |
| 3. 展 示 | 5 |
| 4. 資料収集・管理 | 7 |
| 5. 協力事業 | 8 |
| 6. 出 版 | 9 |
| 7. 普及活動 | 9 |
| 8. 顕彰事業 | 11 |
| 9. 法人運営(公益財団法人の運営体制の整備等) | 12 |
| 10. 会議・役員・職員 | 13 |
| 11. 入館者状況 | 17 |
| 12. 決算報告(貸借対照表) | 18 |
| ※ 資 料 | 19 |
| 1 . 新規資料一覧 | 19 |
| 2 . 新規図書一覧 | 50 |

は じ め に

皆様には斎藤茂吉記念館の事業等に常日頃からご支援、ご協力をいただき感謝申し上げます。

斎藤茂吉記念館年報通巻第40号（令和6年度）を発刊いたしますが、本誌には、令和6年度における斎藤茂吉記念館の行事、館内展示、諸事業、法人運営等の概要を掲載しております。

記念館において令和6年度における一番大きな出来事は、秋葉四郎館長が9月に退任されたことと思います。

秋葉様には、平成25年7月以来、長きにわたり館長職に就いていただきましたが、その間、定例歌会を開催して多くの参加者に作歌する上で適切なアドバイスをいただいたこと、音楽と短歌をコラボレーションさせジャンルを超えた交流により短歌の新たな魅力を発信されたこと、県内はもとより全国各地に赴き出前講座及び講演を行い茂吉の偉業の顕彰普及に尽力されたことなど、当館の周知、発展に多大な貢献をされ、そのご功績には感謝の限りです。

後任には、歩道短歌会の編集人波克彦様にお願い致しました。

波様は、自然科学の分野に身をおかれ研究者としての道を歩まれてまいりましたが、独自の視点での今後のご活躍を期待しているところです。

斎藤茂吉記念全国大会は、50回という節目の年であったことから雁部貞夫大会運営委員から「斎藤茂吉記念全国大会50年を顧みる」、皆川二郎大会運営委員から「斎藤茂吉記念歌集50年の歩み」と題して、これまでの大会の歴史や歌集の変遷などについて回顧していただきました。

また、50回記念トークセッション「私のなかの斎藤茂吉」は、斎藤茂吉短歌文学賞選考委員の小池光様、小島ゆかり様、三枝昂之様、永田和宏様に登壇していただき、それぞれが選歌した茂吉の作品5首について、作品の背景や茂吉の心情などについて話されましたが、参加者の皆様には楽しい時間を過ごしていただけたものと思っております。

特別展は、上半期に「旅する斎藤茂吉 その瞳は何を映したか」、下半期には「茂吉とめぐり逢う人たち 影響を受け、与えた人」を開催しましたが、特別展に呼応して「茂吉の足跡をたどる」、「茂吉を偉大にした先人たち」と題した公開講座を開き、布宮雅昭山形県歌人クラブ会長（現名誉会長）をインタビュアーとして招き、特別展において紹介している短歌、随筆などについて当館学芸員とともに解説していただきましたが、若い参加者もあり盛会でした。

令和6年度の主な事業について記載しましたが、斎藤茂吉記念館は、茂吉、ご子息、交友関係者の貴重な資料を多数収蔵しておりますので、今後も常設展示はもとより特別展において未公開の資料を含め随時、公開してまいりますので、是非、足を運んでいただきたいと思います。

令和7年12月

公益財団法人斎藤茂吉記念館

代表理事 清 野 伸 昭

1. 沿革

昭和

- 41. 8.28 斎藤茂吉記念館起工式
- 42. 11.3 斎藤茂吉記念館竣工式
- 43. 9.1 上山市立斎藤茂吉記念館開館
- 47. 8.1 皇太子・同妃両殿下行啓
- 50. 5.14 第1回斎藤茂吉追慕全国短歌大会(昭和53年から改称、平成12年から斎藤茂吉記念全国大会として継続)
- 51. 8.12 茂吉短歌ポスト設置
- 53. 10. 収蔵庫増築
- 54. 3.25 斎藤家の箱根強羅別荘離れ(勉強部屋)の移築工事竣工
- 55. 10.31 同上屋工事竣工
- 56. 3.20 斎藤茂吉胸像建立(制作:桜井祐一)5月13日除幕
 - 10.1 斎藤茂吉生誕100年記念として記念館無料開館(57.5.31まで)
 - 11.30 ボイラー暖房を電気暖房に切替
- 57. 3.5 生誕100年記念斎藤茂吉展(東京都新宿区小田急百貨店)～5.10
 - 5.13 生誕100年記念斎藤茂吉追慕全国大会を山形県民会館にて開催(山形県・上山市共催)～5.15 みゆき公園内南側園地に歌碑(伊藤左千夫・島木赤彦・斎藤茂吉)を建立
 - 9.23 生誕100年記念斎藤茂吉展(滋賀県大津市西武百貨店)～10.11
 - 10.29 常陸宮妃殿下お成り
- 58. 4.14 財団法人斎藤茂吉記念館設立発起人会開催
 - 4.30 財団法人の基本財産として上山市出捐
 - ・不動産:(1)斎藤茂吉記念館 (2)箱根山荘の勉強部屋 (3)同上屋
 - ・動産:(1)現金10,000,000円
 - 5.23 財団法人斎藤茂吉記念館設立許可
 - 5.31 財団法人設立登記完了
 - 8.1 建物所有権移転登記上山市より財団への引継ぎ事務を完了
- 59. 2.25 三笠宮憲仁親王殿下お成り
 - 7.8 開館以来入館者累計40万人
- 60. 10.11 守谷誠二郎理事死去その遺産(東京都港区南青山三丁目435番地所在不動産等)は公正証書による遺言によって財団法人斎藤茂吉記念館が受遺者となる
 - 11.15 守谷誠二郎氏遺贈財産(不動産)移転登記完了
- 62. 6.15 改修・増築設計監理委託契約締結(株式会社谷口建築設計研究所)
 - 10.17 三笠宮崇仁親王・同妃両殿下お成り
 - 11.1 改修・増築に伴う展示設計監理委託契約締結(株式会社環境設計組織)
- 63. 3.25 改修・増築工事請負契約締結(株式会社竹中工務店東北支店)
 - 4.1 基金1,500,000,000円追加、計1,510,000,000円とする
 - 4.5 改修・増築工事起工式
 - 6.20 展示用映像ソフト制作委託契約締結(株式会社学習研究社映像ソフト局)
- 63. 11.14 改修工事のため休館～平成元.7.31
 - 12.22 展示ケース工事請負契約締結(株式会社竹中工務店東北支店)

昭和

63. 12.24 展示関係工事請負契約締結
(1)情報装置工事(株式会社乃村工藝社)
(2)装飾造型工事(株式会社環境設計組織)
(3)映像音響装置工事(株式会社学習研究社映像ソフト局)

平成

- 元. 4.25 みゆき公園園路跨線橋新設事業協定
同事業完了(2.10.31 上山市)
7.15 改修・増築工事竣工
8.1 改修・増築工事竣工式、同祝賀会・開館
12.14 駐車場入口の土地建物買収登記完了(9.14 売買契約)
2. 8.10 園路改修工事(株式会社竹中工務店東北支店)
3. 12.18 アプローチ整備工事請負契約締結(株式会社竹中工務店東北支店)
4. 2.27 皇太子殿下行啓
5.1 ロゴタイプ・シンボルマークのデザイン、看板のサインデザイン等の設計委託
(株式会社谷口建築設計研究所)
7.1 山形新幹線の開通に伴い「北上ノ山駅」を「茂吉記念館前駅」に改称
8.10 身体障害者用通路敷石工事(柏倉石材工業株式会社)
9.19 ロードサイン工事(株式会社甲子)
9.21 集会室展示用パネル設置工事(株式会社ノールインターナショナルジャパン)
6. 9.20 開館以来入館者累計 100 万人
7. 2.15 勉強部屋上屋改修工事(株式会社竹中工務店東北支店)
5.31 国道 13 号案内標識板設置に係る斎藤茂吉記念館の表示設置
10. 7.3 建物改修工事(屋根瓦・外壁・軒天井等)～7.31
12.4 上山農業高校跡地フェンス設置工事(県道側)～12.22
11. 5.6 駐車場自動販売機置場設置工事～6.4
進入路改良工事(県道入口・跨線橋入口)～6.10
8.24 記念館排水桝嵩上改良工事～9.6
12. 10.6 ドナウエッシンゲン市に斎藤茂吉歌碑建立(国外建立歌碑第 1 号/上山市)
14. 2.24 斎藤茂吉没後 50 年 第 35 回記念茂吉忌合同歌会を共催で執行(寺行事:宝泉寺)
7.1 記念館建物等の改修工事(屋根瓦・軒天井等外壁・消防用設備・誘導案内板等)
～15.3.5
10.1 上山市より駐車場等の土地の譲受け登記完了(平成 14 年 9 月 5 日譲受け)
12.19 斎藤茂吉没後 50 周年記念実行委員会設立、構成団体として参画、事業の実施
15. 7.7 記念館建物等の改修工事(駐車場区画線・ラウンジ鉄骨塗装・ラウンジ軒天井・
空調機・浄化槽エアポンプ・案内看板等)～16.3.29
9.10 斎藤茂吉没後 50 周年記念事業「斎藤茂吉晩年の居室(終焉の間)」復元・関連展示
施設「茂吉とその家族たち」設置～15.9.30(集会室内) 15.10.11 完成
16. 7.5 記念館建物等の改修工事(館内設置空調機・電気設備「受電施設」・事務室隣接
ドライエリア部床・収蔵庫内湿度調節設備等)～16.11.5
16. 8.18 記念館倉庫建設工事～16.9.24(工事目的物引渡日 16.9.29)
10.30 2004 最上川さくら回廊事業植栽式(染井吉野桜 20 本・枝垂桜 30 本植栽)
18. 6.16 運営改善推進計画策定委員会設置・要綱の施行

平成

- 19. 2.15 主要地方道「山形上山線」整備に伴う新規案内標識 3 基設置・既存案内板 2 基の内容変更工事～3.15
- 11.14 運営改善推進計画を承認
- 20. 4.1 入館料金改定(大人個人・同団体料金、団体適用人数、身体障害者割引新設)
- 4.26 展示等音声解説機器(音声ガイドシステム)の導入運用
- 22. 4.1 映像ソフトの制作(既存ソフトをデジタルハイビジョン化)
- 23. 3.11 午後 2 時 46 分東日本大震災発生(M9.0)
岩手・宮城・福島県沿岸部に大規模な津波により甚大な被害発生
福島第 1 原子力発電所の事故重なる
館内停電、翌日午後復旧、震災による直接の被害なし
- 3.12 大震災により 10 日間(3.12・3.23～31)臨時休館
- 3.24 主要地方道山形上山線改良に伴う案内表示板取外し解体撤去工事(弁天交差点)
- 24. 4.1 公益財団法人登記、公益財団法人斎藤茂吉記念館となる 同時に特例民法法人(財団法人斎藤茂吉記念館)解散登記を行う
- 25. 5.26 『赤光』発刊 100 年記念全国短歌コンクール表彰式・記念シンポジウム
- 7.23 上山市内断水～24(影響微小)
- 8.21 排水管改良(修繕)工事・雑水槽不具合箇所確認作業
- 26. 7.6 集会室「茂吉晩年の居室」展示設備什器修繕～7.12
- 27. 5.1 AED(自動対外式除細動器)の館内設置
- 12.5 館内空気調和設備改修設置工事(臨時休館 12.5～12.18)
- 29. 9.1 斎藤茂吉記念館建物等改修工事期間中における休館～次年度(30.4.26)
- 30. 3.27 斎藤茂吉記念館リニューアル工事完成(検査)・3.28(現場確認)
- 4.26 斎藤茂吉記念館リニューアル内覧会
- 4.27 斎藤茂吉記念館リニューアルオープニングセレモニー(斎藤茂吉記念館玄関入口)
・リニューアル工事竣工祝賀会(日本の宿古窯)
- 8.24 斎藤茂吉記念館リニューアル工事竣工後 3 ヶ月点検
- 9.1 斎藤茂吉記念館開館 50 周年記念祝賀会(日本の宿古窯)

令和

- 元. 5.23 リニューアル施工業者による建物・設備等の 1 年点検と補修工事の実施
- 8.3 三笠宮寛仁親王長女・彬子女王殿下館内御視察
- 2. 4.3 新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館の実施～4.15(延長 4.16～5.6
・再延長 5.7～5.31)
- 12.22 斎藤茂吉遺骨供養・安置並びに仏壇撥遣式(魂抜き)の実施(宝泉寺)
- 3. 4.21 箱根強羅の勉強部屋の上屋内照明(天井 8 台)改修工事(LED 化)の実施
- 12.16 自動火災報知設備受信機更新工事の実施～12.17
- 4. 1.20 収蔵庫・常設展示室ハロン消火設備の容器更新工事の実施
- 4.26 一般社団法人日本記念日協会より 5 月 14 日を斎藤茂吉記念日とする登録証交付
- 5.15 生誕 140 年第 48 回斎藤茂吉記念全国大会墓前行事に合わせ斎藤茂吉の遺骨を埋骨
- 6.31 斎藤茂吉記念館倉庫建設工事完成
- 5. 8.17 山形県教育委員会に改正博物館法に基づく博物館登録申請書提出
- 10.19 改正博物館法に基づく博物館登録申請が「山形第 1 号」として承認

2.1 年のあゆみ

令和

- 6. 4.1 山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づき定款の一部変更(基本財産の変更)に係る届出書を提出
職員の昇給辞令(業務係主事兼学芸員、学芸員、庶務係員)、嘱託職員の採用、任命
辞令交付(事務局長、庶務係専門員、専門支援員、業務係)
- 5.27 令和5年度山形県博物館事業共催負担金実績報告書の实地検査(検査員:山形県観光文化スポーツ部文化スポーツ振興課職員2名)
- 6.3 令和5年度業務執行監査(館内館長室監事2名)
- 6.11 第45回理事会(館内集会室)
- 6.25 第38回評議員会(館内集会室)
- 6.26 第46回理事会(書面決議)
- 7.1 山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づく変更(評議員の変更)に係る届出書を提出
- 7.7 管理規則第3条の規定に基づく休館(7月13日までの7日間)
- 8.29 山形県教育委員会に博物館定期報告書を提出
- 9.3 収蔵庫内除湿器更新
- 10.1 第47回理事会(館内集会室)
上山市金瓶山ノ上に設置の案内看板修繕
- 10.29 第39回評議員会(館内集会室)
- 11.21 山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づき定款の一部変更及び、役員変更に係る届出書を提出
- 6. 3.4 第48回理事会(館内集会室)
- 3.18 第40回評議員会(館内集会室)
- 3.20 山形県知事に公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づき令和7年度事業計画・収支予算書等に係る届出書を提出

3. 展示

◎常設展示／常設設

郷土が生んだ偉大な歌人斎藤茂吉の功績を称えとともに、茂吉に関連する作品・資料等の収集保存と、多くの輝かしい業績を永く後世に伝え、地域の学芸・文化の発展に寄与するために館内展示内容の拡充に努めた。また、入館者へのサービス向上等を目的に解説機器類の貸出しを行った。

○常設展示-地階:常設展示室「茂吉の世界とその作品」

斎藤茂吉の足跡を辿りながら、数々の業績と魅力を伝えるため「自筆書画・原稿・書簡・著書・遺品」などの展示のほか、茂吉を深く理解するためのデジタル機器・グラフィック解説板を活用した展示も行った。ふるさと山形・上山を生涯愛し続けた茂吉の様子をジオラマ等により紹介した。

＊茂吉世界へのいざない(動画・ジオラマ演出) ＊茂吉森羅万象(国内・海外・ふるさと／デジタル画像等展示) ＊茂吉交遊相関図(少年期・青年期・壮年期・医学期・晩年期) ＊茂吉とふるさと山形・上山(茂吉少年の庭／生家周辺古地図) ＊茂吉の生涯(ジオラマ解説:2点) ＊茂吉の作歌姿勢 ＊医学者茂吉(ジオラマ解説) ＊茂吉の書画 ＊茂吉の業績 ＊茂吉の交遊 ＊茂吉の著書 ＊茂吉の肖像他

○常設映像展示-地階:映像展示室「斎藤茂吉の世界とその時代」

斎藤茂吉の生涯を概観し常設展示資料を補足するための展示映像を定時的に上映(約 18 分間・デジタルハイビジョン画像／静止画)した。※映像解説資料「映像に出てくる斎藤茂吉のうた」を室内に配置(常時)

○常設展示-1 階:集会室「茂吉の晩年そして終焉へ、家族・周辺の人びと」

斎藤茂吉が死去した居間・書斎(晩年の居室)、次男宗吉(北杜夫)旧蔵の茂吉の遺骨保管のための仏壇・骨壺(遺骨埋骨後)・骨箱類、茂吉晩年の様子を示すエピソードと密接にかかわる人々を紹介し関連する資料を展示した。また、2 番組の選択の展示映像「父・茂吉の思い出」と「茂吉追憶」の上映、情報検索装置「茂吉アーカイブス・茂吉ライブラリー」を設置して情報提供等を行った。

○常設展示-1 階:ロビー「茂吉の人となり」「短歌とは／短歌全史」「斎藤茂吉短歌文学賞」「斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール」

展示室入口(階段・エレベーター通路脇)壁面を利用した展示として、タッチパネル式ディスプレイ(デジタルコンテンツ:斎藤茂吉記念館概説・茂吉全史／年譜・茂吉歌碑マップ)とグラフィックパネル(短歌とは・短歌全史／近代短歌の系譜・斎藤茂吉歌碑:全国・県内の歌碑分布図・建立数)を掲示、壁面メッシュパネルに斎藤茂吉短歌文学賞の事業概要・各回受賞者と、斎藤茂吉ジュニア短歌コンクールの事業概要・令和 5 年度第 21 回の最優秀賞受賞作品 6 首ほか、優秀賞作品 52 首、入選作品全 200 首を掲示した。

○常設展示-別棟(みゆき公園内):「箱根山荘の勉強部屋」

神奈川県箱根強羅の斎藤家別荘離れとして、茂吉が毎年夏に原稿等執筆のため滞在した「箱根山荘の勉強部屋」と「移築記念碑」の設置に伴い、人感センサーによる自動音声解説装置(照明連動・グラフィック展示)を運用した。

○常設設置-1 階:ロビー「キッズサロン」「茂吉なりきり写真館」「茂吉短歌ポスト」等

入館した子どもから大人まで、楽しく遊びながら斎藤茂吉に親しむ空間として、ロビーの一部を利用した「キッズサロン」(茂吉短歌かるた・茂吉パズル・市販の学習遊具・絵本などを配置)、茂吉に変身して記念撮影を行う「なりきり写真館」、短歌の普及として気軽に作歌するための「茂吉短歌ポスト」の館内投稿窓口(自立ポスト)、茂吉自作短歌朗詠を設置した。

○常設設置-「展示情報等音声解説機器／音声ガイド」

施設概要・展示内容・作品鑑賞等の情報提供による入館者のサービス向上等を目的とした機器設備(日本語解説 15 台・英語訳解説 5 台の計 20 台)の有料貸出を行った。また、機器貸出時においてプログラムガイドを利用者に配布した。

※令和 6 年度の貸出利用台数:128 台

◎特別展示／企画展示

斎藤茂吉記念館を周知するとともに館内常設展示資料の補足と斎藤茂吉の魅力・作品などに関して、幅広い年齢層から理解を得るための特別展を年度内において 2 回開催した。さらに、関連印刷物として目録を兼ねたチラシとポスターを作成し、関係者・団体等に配布し本展の広報に努めた。

○「旅する斎藤茂吉 その瞳は何を映したか」

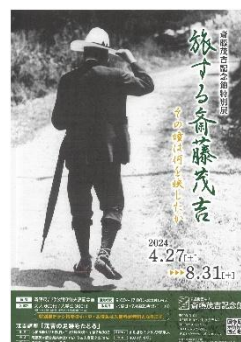
斎藤茂吉が旅をした際に目にして感じたことを記した短歌や随筆、そして絵画などの資料を中心に、今もなお茂吉の足跡を示す各地の歌碑についても紹介するために開催した。展示資料としては、墨書作品(半切・色紙・短冊等)を中心に、原稿、旧蔵品、絵画、書籍、写真、解説パネル等を展示した。

※展示資料点数:33 点(解説・写真パネル等を含む)

※会期:令和 6 年 4 月 27 日(土)から令和 6 年 8 月 31 日(土)まで「103 日間」

※会場:守谷夫妻記念室(地階)

*PRのためチラシ・ポスター等の印刷物作成・配布、ラジオコマーシャル、マスコミ各社への投げ込み、Web サイト掲載などを行った。



特別展「旅する斎藤茂吉 その瞳は何を映したか」チラシ・ポスター

○「茂吉とめぐり逢う人たち 影響を受け、与えた人」

茂吉が多方向にわたり生み出した芸術的作品の基となった著名な文人・画人、茂吉に影響を受けた現代歌人などを紹介しながら、広く文学・芸術などに関心を寄せている人たちに対し著名人などを介して茂吉に興味を持ってもらい優れた作品が生み出された根底を探るために開催した。展示資料としては、墨書作品(半切・色紙・短冊等)を中心に、原稿、絵画、書簡、書籍、写真、解説パネル等を展示した。

※展示資料点数:40 点(解説・写真パネル等を含む)

※会期:令和 6 年 9 月 14 日(土)から令和 7 年 3 月 31 日(月)まで「165 日間」

※会場:守谷夫妻記念室(地階)

*PRのためチラシ・ポスター等の印刷物作成・配布、ラジオコマーシャル、マスコミ各社への投げ込み、Web サイト掲載などを行った。



特別展「茂吉とめぐり逢う人たち 影響を受け、与えた人」チラシ・ポスター

4. 資料収集・管理

◎資料収集

斎藤茂吉を中心とした作品・資料等の収集、寄託品を含む収蔵品を円滑に管理・活用するための調査と整理を行った。

| | 令和 5 年度 ・ 令和 6 年度/新規 | | |
|-------------------------|----------------------|-----------|--------|
| *基本財産収蔵品(A 評価資料) | 2,537 点: | 2,498 点+ | 39 点 |
| *その他の収蔵資料(B 評価・C 評価無資料) | 4,723 点: | 3,889 点+ | 834 点 |
| *除外資料(工事用記録映像・一般歌集・図書等) | 4,390 点: | (4,315 点+ | *75 点) |
| *新規除外資料(図書資料のみ) | 102 点: | (*75 点) | 102 点 |
| 合計 | 11,752 点: | 10,777 点+ | 975 点 |

*寄託品資料《個人短期: 971 点/個人長期:171 点/上山市:2,208 点/山形県:1 点》

| | |
|----------|----------|
| 合計 | 3,351 点 |
| 収蔵資料数 総計 | 15,103 点 |

5. 協力事業

◎資料貸出・撮影・掲載に関する協力

各種団体の文化活動に対する調査、資料提供等の協力を行った。

○団体・専門機関・出版社等に対する資料の貸与・調査、写真資料掲載等のための協力

- * 写真資料の貸与及び印刷物等の掲載の承認 申請許可件数:7 件／点数:9 点
- * 資料撮影(館内撮影)・転載(掲載)の承認 申請許可件数:3 件／点数:3 点
- * 収蔵資料の貸与及び展示の承認 申請許可件数:1 件／点数:1 点

○各種事業への協力(貸出等の点数は上記承認実績に含む)

- * 東北芸術工科大学「山形ビエンナーレ 2024」企画展「現代山形考:山はうたう」

令和 6 年 9 月 1 日から同年 9 月 16 日まで東北芸術工科大学主催の「山形ビエンナーレ 2024」において斎藤茂吉も参加アーティストとされ蔵王温泉の歌碑めぐりなどが紹介された。企画展「現代山形考:山はうたう」において斎藤茂吉旧蔵の眼鏡を貸出したほか、映像作品などへの協力を行った。

- * NHK 山形「わすれずの山 蔵王」

NHK 山形が令和 7 年 3 月 14 日、3 月 22 日に放送した歴史番組「わすれずの山 蔵王」において、貸与した写真資料が掲載された。

◎各種団体の文化活動に対する協力

○外部団体(個人)の依頼による斎藤茂吉等関連の調査等の協力

- * 資料持ち込みによる内容調査(年度内随時)
- * 個人・団体発行の冊子・広報紙等への執筆及び情報・資料等の提供
- * 斎藤茂吉歌碑建立に伴う情報提供と資料調査

○各種団体の文化活動等に対する協力

- * 第 8 回 U-39 やましん紙上歌会

山形新聞社主催により、令和 6 年 4 月 15 日から同年 9 月 15 日まで、小・中・高校生及び一般を対象に行った短歌作品募集について、応募作品審査、表彰等の後援を行った。

- * 斎藤茂吉記念第 31 回中川町短歌フェスティバル

北海道中川郡中川町教育委員会主催により短歌フェスティバルの一環として行った令和 6 年 5 月 1 日から同年 6 月 30 日までの短歌作品募集について、応募作品審査等の後援を行った。

- * かみのやま博物館連絡会(上山市内博物館 3 館)

令和元年 10 月 1 日から上山市、上山市教育委員会、上山市観光物産協会、明日のそばを語る会の協力を得て、上山市内にある上山城、蟹仙洞、斎藤茂吉記念館の 3 館共通館券と旧尾形家住宅、武家屋敷三輪家、脇本陣・滝沢屋の団体料金適用入館、明日のそばを語る会加盟店の飲食代割引等の特典を付した「KAMINOYAMAWELCOME PASSPORT」の販売を 1 冊 1,200 円で行った。

6. 出版

○「斎藤茂吉記念歌集」第 50 集

斎藤茂吉記念全国大会事業の関連出版物として、一般投稿作品を収載し斎藤茂吉生誕日に発行した。

※A5 判 119 頁(令和 6 年 5 月 14 日発行)一般作品:696 首(人)収載

○「2023(令和 5)年度斎藤茂吉記念館年報 通巻第 39 号」(2023/4～2024/3)

1 年のあゆみ、諸事業実績、法人運営、入館者状況、決算報告、新規資料一覧等を掲載した。

※A4 判 20 頁(令和 6 年 12 月 15 日発行)

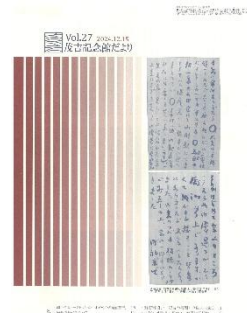
○館報「茂吉記念館だより 第 27 号」

トークセッション、館長随想、講座事業、特別展、収蔵資料紹介、短信(掲示板)等を掲載した。

※A4 判 12 頁(令和 6 年 12 月 15 日発行)

○第 22 回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール入選作品集「桜実 Sakurago」

山形県・上山市・上山市教育委員会と共催事業として実施した斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール事業の一環として、最優秀・優秀・入選作品全 200 首と選考委員の選評・最優秀作品受賞者のことば等を掲載した作品集「令和 6 年度第 22 回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール入選作品集 桜実(Sakurago)」を、県内市町村教育委員会、応募協力学校(小・中・高校)、図書館等に配布した。※ A5 判 54 頁(令和 7 年 3 月 15 日発行)



館報「茂吉記念館だより第 27 号」



第 22 回入選作品集「桜実」

7. 普及活動

◎斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール

児童・生徒が、短歌づくりに親しみ、生まれ育った地域を再認識、再発見するとともに、美しい日本語を見直すことで、国語力の向上を通じた文化の創造と振興を図るため、児童・生徒を対象に山形県・上山市・上山市教育委員会とともに主催し実施した。

○令和 5 年度第 21 回(前年度)応募作品における最優秀賞作品・優秀賞作品・入選作品の賞状授与

入選作品集「桜実」及び関係機関・報道等において発表した最優秀賞受賞者 6 人(小・中・高校の各部門 2 首/計 6 作品)の表彰式を、第 50 回斎藤茂吉記念全国大会開催時(令和 6 年 5 月 19 日/会場:三友エンジニア体育文化センター・エコーホール)に実施した。また、県内外の各賞受賞校(者)に賞状(令和 6 年 5 月 14 日付)を郵送した。

○第 22 回短歌作品募集と選考(作品選歌)

*小・中・高校の児童・生徒を対象とした短歌作品の応募要項を策定(チラシ印刷)して募集(学校・短歌団体単位)の応募:1 人 1 首)した。(募集期間:令和 6 年 11 月 15 日から同 7 年 1 月 10 日まで)



第 22 回作品募集チラシ

※主催者打ち合わせ会:令和6年10月15日(斎藤茂吉記念館)

※応募総数 8,407 首(県内 3,359 首・県外 5048 首)／応募学校数 134 校(県内 52 校・県外 82 校)

*選考委員による作品選考(第1次審査「200 首選考」令和7年1月27日)(第2次審査「60 首選考／重複選考により 50 首」同年2月15日(土))(最終選考「6 首／小・中・高校各 2 首」同年2月15日)を行うとともに、最終選考後に最優秀賞を発表し、関係機関・報道関係者等に通知した。

※第1次選考選者:山形県内在住の歌人 12 氏(山形県歌人クラブ会員)

※第2次・最終選考選者:大瀧保・田村元・結城千賀子の3氏

○最優秀・優秀・入選作品の掲示(斎藤茂吉記念館内ロビー壁面)

令和5年度第21回の最優秀作品6首、優秀作品45首、入選作品149首の全200首を斎藤茂吉記念館内ロビー壁面に掲示した。

◎茂吉短歌ポスト

短歌の普及拡大と啓発のため、通年事業として「短歌ポスト」を設置するとともに、投稿用紙を兼ねた印刷物の配布、投稿作品の選歌(県内主要歌人による選歌「入選3首・佳作5首」)を行い入選者を公表した。

*50首程度を目処に選歌を依頼し、令和6年度は2回実施した。入選・佳作者には賞状を贈呈、選歌結果を斎藤茂吉記念館ホームページにおいて公開した。

※選歌(投稿)数:第136回(布宮雅昭氏選)50首／入選3首・佳作5首、第137回(山川ひろみ氏選)50首／入選3首・佳作5首

*「茂吉短歌ポスト作品集 29 集」の発刊／第133・134・135・136回の各回の入選・佳作作品と全投稿作品(208 首)を収載し、令和6年9月30日付で発行した。

※A5判45頁(応募者全員・関係者・関係施設・関係団体等に配布／送付)

◎講座等事業

○茂吉講座

斎藤茂吉記念館の周知・誘客と茂吉に対する理解の向上、特別展の魅力を深掘りし詳しく解説するために公開講座を開催した。山形県歌人クラブ会長の布宮雅昭氏(現名誉会長)をインタビュアーとして招き、担当学芸員の座学とギャラリートークを行う内容で2回開催した。

*第1回「茂吉の足跡をたどる」

※期日:令和6年6月16日(日)／定員:40人／参加費無料

※講師:佐藤結子(斎藤茂吉記念館学芸員)

※運営協力:布宮雅昭氏(山形県歌人クラブ会長・歌人)

※参加者数:31人

*第2回「茂吉を偉大にした先人たち」

※期日:令和6年10月6日(日)／定員:40人／参加費無料

※講師:五十嵐善隆(斎藤茂吉記念館学芸員)

※運営協力:布宮雅昭氏(山形県歌人クラブ会長・歌人)

※参加者数:29人

◎その他

○ホームページの開設(各種情報提供)

斎藤茂吉記念館・斎藤茂吉の諸情報の提供、諸事業に関する情報発信等を目的に、公式ホームページを開設、随時情報を更新した。(URL<https://www.mokichi.or.jp>)

○普及版パンフレット(令和7年度版)作成・配布

前年度に引き続き斎藤茂吉記念館普及版パンフレットを作成して上山市内の宿泊施設、飲食店、観光施設等に配布した。次年度(令和7年度)の年間イベントガイド(年間展示・行事スケジュール等)のほか、施設概要・展示内容、上山市内の詳細なマップ等を掲載した。また、パンフレットに入館者の増加を目的に入館料金割引(大人・学生各100円引、小人50円引)の特典を付した。



8. 顕彰事業

◎斎藤茂吉記念全国大会

本県の生んだ偉大な歌人斎藤茂吉の生誕を記念し、輝かしい業績の普及及び顕彰、さらに、地域文化の向上と学芸文化の振興のため、第50回斎藤茂吉記念全国大会を開催するとともに全国大会記念歌集を作成した。さらに、次年度開催予定の第51回斎藤茂吉記念全国の集い事業計画策定及び参加・同歌集第51集投稿募集案内等に取り組んだ。

○第50回斎藤茂吉記念全国大会の概要

* 令和6年5月19日(日): 墓前行事・斎藤茂吉記念歌集第50集の献上: 関係者のみ列席(斎藤家・斎藤茂吉記念全国大会事業主催者・斎藤茂吉記念全国大会運営委員等)／墓参参列者30人／第35回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式(賞の贈呈・選考経過報告・受賞者挨拶)・第21回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール最優秀作品表彰式(受賞者6人・選考経過報告)・50回記念トークセッション「私のなかの斎藤茂吉」(小池光、小島ゆかり、三枝昂之、永田和宏の4氏)参加者: 200人(会場: 三友エンジニア体育文化センター・エコーホール)

○斎藤茂吉記念歌集第50集の発行

一般投稿作品を収載し、斎藤茂吉生誕日の令和6年5月14日付で発行した。

* A5判119頁一般作品: 696首(人)収載

* 歌集編集委員会の開催: 令和6年4月5日(斎藤茂吉記念館集会室)委員5氏出席

○第51回斎藤茂吉記念全国の集い事業計画の策定

* 運営委員会の開催: 令和6年8月26日(斎藤茂吉記念館集会室)「第51回斎藤茂吉記念全国の集い日程・同記念歌集第51集募集要項等について」運営委員に委嘱状の交付)委員(歌人): 大瀧保・鎌上純子・雁部貞夫・布宮雅昭・皆川二郎の5氏

※第51回斎藤茂吉記念全国の集い参加と同記念歌集第51集投稿募集及び広報／募集期間: 令和6年12月から同7年3月3日(投稿募集)・同7年4月18日(集い参加募集)まで

* 第51回斎藤茂吉記念全国の集い: 令和7年5月18日(日) 墓前行事／宝泉寺: 読経・焼香・記念歌集献上(関係者のみ)、交流昼食会／会場: 三



友エンジニア体育文化センター・軽スポーツルーム(参加者、関係者)、記念行事／会場:三友エンジニア体育文化センター・エコーホール:第36回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式、題詠短歌コンクール表彰、記念講演「茂吉の飲食の歌」登壇者:田村元氏

※参加事前申込者に限り令和7年5月16日から同19日までの4日間、斎藤茂吉記念館の入館料を無料とした。

＊斎藤茂吉記念歌集第51集

1人1首(題:自由)・投稿作品はすべて記念歌集に掲載・投稿料:有料

◎斎藤茂吉短歌文学賞

斎藤茂吉の功績を記念し、短歌の分野において優れた業績をあげた者に贈られる斎藤茂吉短歌文学賞は、山形県と当財団が創立したもので、第36回の賞の贈呈と第37回の選考を行った。

＊第35回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式(第50回斎藤茂吉記念全国大会時／令和6年5月19日(日)・会場:三友エンジニア体育文化センター・エコーホール 受賞者:玉井清弘氏／作品:『山水』(短歌研究社刊)

＊第36回斎藤茂吉短歌文学賞:受賞者:本多稜氏／作品:『時剋』本阿弥書店

◎第58回茂吉忌合同歌会

斎藤茂吉の顕彰と山形県内歌壇等の振興・交流を図ることなどを目的に茂吉を偲ぶ超結社の歌会として、例年、茂吉の命日(2月25日)に近い日曜日に行っている合同歌会は、令和7年2月23日(日)に開催した。

＊主催者打ち合わせ会(令和6年10月11日／斎藤茂吉記念館)

＊第58回茂吉忌合同歌会／会場:斎藤茂吉記念館集会室

＊内容:歌会(選者講評・特選・入選者表彰等)

※選者講評:大瀧保・布宮雅昭・山川ひろみの3氏(各選者ごと特選1首・入選2首を選歌)

※歌会出席者:40人(一般20人・関係者等20人)

＊「第58回茂吉忌合同歌会作品集」(令和7年2月25日発行)

※A4判7頁・投稿数:83首(人)

＊「第58回茂吉忌合同歌会入選作品」(令和7年2月25日発行)

※A4判両面・特選3首、入選6首

9. 法人運営(公益財団法人の運営体制の整備等)

◎斎藤茂吉記念館友の会に関する規程に基づく運営・事業

斎藤茂吉記念館に対する協力及び理解を高め、事業活動の推進に資することを目的として、斎藤茂吉記念館開館50周年を記念し平成29年度において制定した公益財団法人斎藤茂吉記念館友の会に関する規程に基づき、友の会への加入の勧誘・促進と周知等に努めた。

◎公益財団法人斎藤茂吉記念館大使の任命

斎藤茂吉並びに斎藤茂吉記念館の普及・周知等のために、斎藤茂吉の親族を大使に任命しているが、任期満了に伴い再任命(令和6年4月1日～同8年3月31日までの2年間)した。

※任命対象者(斎藤茂吉の孫)2氏:斎藤茂太氏長男 斎藤茂一氏・北杜夫氏長女 斎藤由香氏

◎斎藤茂吉の親族等に対する対応

金瓶学校保存会による上山市金瓶宝泉寺の斎藤茂吉墓所及び周辺の整理整備等の活動を支援した。

◎施設管理等の整備拡充事業

○管理規則第3条第1項に基づく休館及び休館日の活用

7月の休館日「令和6年7月7日から同月13日まで」を利用して常設展示室内の清掃作業を行った。

※常設展示室の清掃作業:令和6年7月7日から同月9日まで

○斎藤茂吉記念館施設・設備等の管理

- *集会室天井点検口設置(令和6年6月28日)
- *浄化槽内斜流ファン交換(同年6月30日)
- *収蔵庫内除湿器更新(同年9月3日)
- *映像展示室空調装置修理(同年9月9日)
- *案内看板修繕(同年10月1日)
- *映像展示室プロジェクター交換(同年10月28日)
- *空調設備部品交換(同年12月20日)
- *ラウンジ除湿器更新(令和7年1月14日)
- *館内エレベーター設備機器と周辺設備の定期点検
- *多目的トイレの利用案内、管理
- *その他、建物内外のバリアフリー箇所の案内と管理

◎公益事業の推進に資するための斎藤茂吉記念館内における頒布事業の実施

令和3年度より「上山市ふるさと納税制度」に基づく返礼品に斎藤茂吉記念館館内の頒布品を登録して物販業務の拡大に努めた。また、館内展示物に関連するものを中心とした自主作成の製品の頒布にも努めた。

- *斎藤茂吉記念館内展示資料等に関連するものを中心とした自主作製頒布:59種(有料)
- *見学者に有益である資料について関連業者からの委託頒布:28種(有料)

10. 会議・役員・職員

◎理事会・評議員会の開催状況

○第45回理事会:令和6年6月11日(斎藤茂吉記念館集会室)

*承認事項

承認第40号:公益財団法人斎藤茂吉記念館令和5年度事業報告並びに計算書類等について

*決議事項

議第128号:公益財団法人斎藤茂吉記念館第38回評議委員会の招集について

※報告事項 (1)職務執行報告について ア.事業執行状況 イ.入館者状況

(2)公益財団法人斎藤茂吉記念館令和5年度資金運用状況報告について

○第38回評議員会:令和6年6月25日(斎藤茂吉記念館集会室)

***承認事項**

承認第81号:公益財団法人斎藤茂吉記念館令和5年度事業報告並びに計算書類等について

***決議事項**

議第71号:公益財団法人斎藤茂吉記念館評議員の選任について

議第72号:公益財団法人斎藤茂吉記念館理事、監事の選任について

※報告事項 (1)職務執行報告について ア.事業執行状況 イ.入館者状況

(2)公益財団法人斎藤茂吉記念館令和5年度資金運用状況報告について

○第46回理事会:令和6年6月26日(書面決議)

***決議事項**

議第129号:代表理事、業務執行理事及び資金運用執行責任者の選定について

○第47回理事会:令和6年10月1日(斎藤茂吉記念館集会室)

***決議事項**

議第130号:公益財団法人斎藤茂吉記念館第39回評議員会の招集について

※報告事項 (1)職務執行報告について ア.事業執行状況 イ.入館者状況

(2)公益財団法人斎藤茂吉記念館資金運用状況報告について

○第39回評議員会:令和6年10月29日(斎藤茂吉記念館集会室)

***決議事項**

議第73号:公益財団法人斎藤茂吉記念館定款の一部変更について

議第74号:公益財団法人斎藤茂吉記念館評議員の選任について

※報告事項 (1)職務執行報告について ア.事業執行状況 イ.入館者状況

(2)公益財団法人斎藤茂吉記念館令和5年度資金運用状況報告について

○第48回理事会:令和7年3月4日(斎藤茂吉記念館集会室)

***承認事項**

承認第41号:基本財産(公益目的事業を行うために不可欠な特定財産以外のもの)の除外について

承認第42号:公益財団法人斎藤茂吉記念館令和7年度資金運用計画について

承認第43号:重要な使用人の選任について

***決議事項**

議第131号:公益財団法人斎藤茂吉記念館令和7年度事業計画並びに収支予算について

議第132号:公益財団法人斎藤茂吉記念館第40回評議員会の招集について

議第133号:公益財団法人斎藤茂吉記念館給与規定の一部改正について

議第134号:公益財団法人斎藤茂吉記念館給与規定の給料表改正について

※報告事項 職務執行報告について ア.事業執行状況 イ.入館者状況

○第40回評議員会:令和7年3月18日(斎藤茂吉記念館集会室)

＊承認事項

承認第82号:公益財団法人斎藤茂吉記念館令和7年度事業計画並びに収支予算について

承認第83号:公益財団法人斎藤茂吉記念館令和7年度資金運用計画について

承認第84号:公益財団法人斎藤茂吉記念館給与規定の一部改正について

承認第85号:公益財団法人斎藤茂吉記念館給与規定の給料表改定について

＊決議事項

議第75号:基本財産(公益目的事業を行うために不可欠な特定財産以外のもの)の除外について

議第76号:公益財団法人斎藤茂吉記念館定款の一部変更について

※報告事項 職務執行報告について ア.事業執行状況 イ.入館者状況

◎役員の就任状況(敬称略)

○理事

| | |
|--------|---------|
| 代表理事 | 清 野 伸 昭 |
| 理 事 | 晋 道 純 一 |
| 理 事 | 佐 藤 信 幸 |
| 理 事 | 平 井 康 博 |
| 理 事 | 五十嵐 庄 七 |
| 理 事 | 土 屋 講 |
| 業務執行理事 | 會 田 啓 一 |

○監事

| | |
|-----|---------|
| 監 事 | 川 合 賢 介 |
| 監 事 | 井 上 真 一 |

○評議員

| | |
|-------|------------------------|
| 評 議 員 | 山 本 幸 靖 |
| 評 議 員 | 横 戸 隆 (令和6年10月29日辞任) |
| 評 議 員 | 加 藤 洋 一 (令和6年10月29日就任) |
| 評 議 員 | 大 沢 芳 朋 |
| 評 議 員 | 山 川 庸 久 |
| 評 議 員 | 後 藤 恒 裕 |
| 評 議 員 | 大 瀧 保 (令和6年6月25日辞任) |
| 評 議 員 | 布 宮 雅 昭 (令和6年6月25日就任) |
| 評 議 員 | 松 本 佳 子 (令和6年6月25日辞任) |
| 評 議 員 | 佐 藤 法 子 (令和6年6月25日就任) |

◎職員構成の状況

| | |
|------------------------|-----------------------|
| 館長(事業等業務総括) | 秋 葉 四 郎 (令和6年9月30日辞任) |
| 館長(事業等業務総括) | 波 克 彦 (令和6年10月1日就任) |
| 事務局長(兼業務執行理事／管理運営事務総括) | 會 田 啓 一 |
| 業務係 主事兼学芸員 | 五十嵐 善 隆 |

業務係 学芸員
業務係 専門支援員(非常勤)
庶務係 事務員
庶務係 専門員(嘱託)

佐 藤 結 子
村 尾 二 朗
佐 藤 康 平
遠 藤 星 子

11. 入館者状況

◎月別入館者状況

(単位:人)

| | | 令和6年 /4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 令和7年 /1月 | 2月 | 3月 | 合 計 |
|--------------|------|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------------|-----|-----|-------|
| 個人 | 大人 | 235 | 301 | 294 | 169 | 320 | 273 | 282 | 284 | 68 | 82 | 118 | 146 | 2,572 |
| | 学生 | 6 | 7 | 3 | 9 | 33 | 22 | 6 | 13 | 24 | 14 | 4 | 6 | 147 |
| | 小人 | 12 | 13 | 4 | 3 | 22 | 8 | 2 | 6 | 4 | 7 | 2 | 17 | 100 |
| | 計 | 253 | 321 | 301 | 181 | 375 | 303 | 290 | 303 | 96 | 103 | 124 | 169 | 2,819 |
| 団体 | 大人 | | 114 | 100 | 22 | 19 | 222 | 90 | 67 | | | 3 | 13 | 650 |
| | 学生 | | | | 9 | | 268 | | | | | 10 | | 287 |
| | 小人 | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |
| | 計 | | 114 | 100 | 32 | 19 | 490 | 90 | 67 | | | 13 | 13 | 938 |
| 減額・身障者・免除・招待 | 大人 | 158 | 275 | 221 | 129 | 248 | 187 | 295 | 170 | 70 | 41 | 79 | 110 | 1,983 |
| | 学生 | 1 | 4 | 4 | 2 | 20 | 6 | 2 | 5 | 1 | 1 | 1 | 3 | 50 |
| | 小人 | 4 | 10 | 4 | 14 | 20 | 4 | 3 | 8 | | 2 | 3 | 10 | 82 |
| | 料金変更 | 2 | | 3 | 3 | 4 | 5 | | | 1 | 2 | 3 | | 23 |
| | 計 | 165 | 289 | 232 | 148 | 292 | 202 | 300 | 183 | 72 | 46 | 86 | 123 | 2,138 |
| 合 計 | | 418 | 724 | 633 | 361 | 686 | 995 | 680 | 553 | 168 | 149 | 223 | 305 | 5,895 |
| 1日平均 | | 16 | 28 | 24 | 18 | 25 | 38 | 26 | 21 | 7 | 6 | 9 | 11 | 20 |
| 開館日数 | | 26 | 26 | 26 | 20 | 27 | 26 | 26 | 26 | 23 | 24 | 24 | 27 | 301 |

◎前年度対比表

(単位:人)

| | 令和6年度 | 令和5年度 | 増 減 | 対 比 |
|-----|-------|-------|-------|--------|
| 4月 | 418 | 457 | △ 39 | 91.5% |
| 5月 | 724 | 813 | △ 89 | 89.1% |
| 6月 | 633 | 658 | △ 25 | 96.2% |
| 7月 | 361 | 387 | △ 26 | 93.3% |
| 8月 | 686 | 669 | 17 | 102.5% |
| 9月 | 995 | 575 | 420 | 173.0% |
| 10月 | 680 | 981 | △ 301 | 69.3% |
| 11月 | 553 | 528 | 25 | 104.7% |
| 12月 | 168 | 191 | △ 23 | 88.0% |
| 1月 | 149 | 153 | △ 4 | 97.4% |
| 2月 | 223 | 269 | △ 46 | 82.9% |
| 3月 | 305 | 286 | 19 | 106.6% |
| 合 計 | 5,895 | 5,967 | △ 72 | 98.8% |

○概要

*入館者数:5,895 人

*入館収入:2,975,650 円

○休館日

*毎週水曜日

*7月7日～7月13日まで

*12月28日～1月3日まで

※管理規則に基づく休館

12. 決算報告

◎貸借対照表(令和7年3月31日現在)

(単位：円)

| 科 目 | 当 年 度 | 前 年 度 | 増 減 |
|------------------|---------------|---------------|--------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 2,936,809 | 5,887,301 | △ 2,950,492 |
| 未収入金 | 39,706 | 245,706 | △ 206,000 |
| たな卸資産 | 3,858,755 | 3,255,681 | 603,074 |
| 貯蔵品 | 11,124 | 48,601 | △ 37,477 |
| 前払金 | 71,940 | 0 | 71,940 |
| 流動資産合計 | 6,918,334 | 9,437,289 | △ 2,518,955 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 建物等(基) | 614,514,249 | 649,533,449 | △ 35,019,200 |
| 土地(基) | 218,785,300 | 218,785,300 | 0 |
| 收藏品 | 257,142,515 | 256,432,515 | 710,000 |
| 基本財産有価証券 | 330,000,000 | 330,000,000 | 0 |
| 基本財産定期預金 | 200,000,000 | 230,000,000 | △ 30,000,000 |
| 基本財産合計 | 1,620,442,064 | 1,684,751,264 | △ 64,309,200 |
| (2) 特定資産 | | | |
| 定期預金(資産取得資金) | 3,500,000 | 4,000,000 | △ 500,000 |
| 定期預金(退職給与引当金) | 3,232,241 | 3,232,241 | 0 |
| 普通預金(友の会・活動支援募金) | 3,000 | 0 | 3,000 |
| 特定資産合計 | 6,735,241 | 7,232,241 | △ 497,000 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 建物(運) | 2,540,086 | 2,764,511 | △ 224,425 |
| 什器備品 | 1,424,738 | 1,242,700 | 182,038 |
| 構築物 | 4,746,032 | 6,523,719 | △ 1,777,687 |
| 機械装置 | 211,073 | 423,413 | △ 212,340 |
| 收藏品 | 11,795,589 | 11,022,589 | 773,000 |
| 土地(運) | 59,879,650 | 59,879,650 | 0 |
| 電話加入権 | 738,510 | 738,510 | 0 |
| ソフトウェア | 839,349 | 1,119,132 | △ 279,783 |
| 運用財産定期預金 | 40,000,000 | 41,000,000 | △ 1,000,000 |
| その他の固定資産合計 | 122,175,027 | 124,714,224 | △ 2,539,197 |
| 固定資産合計 | 1,749,352,332 | 1,816,697,729 | △ 67,345,397 |
| 資産合計 | 1,756,270,666 | 1,826,135,018 | △ 69,864,352 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払金 | 2,971,693 | 3,172,453 | △ 200,760 |
| 預り金 | 213,829 | 386,043 | △ 172,214 |
| 流動負債合計 | 3,185,522 | 3,558,496 | △ 372,974 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 退職給付引当金 | 3,232,241 | 3,232,241 | 0 |
| 固定負債合計 | 3,232,241 | 3,232,241 | 0 |
| 負債合計 | 6,417,763 | 6,790,737 | △ 372,974 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 民間補助金 | 5,842,500 | 5,842,500 | 0 |
| 指定正味財産合計 | 5,842,500 | 5,842,500 | 0 |
| 2. 一般正味財産 | 1,744,010,403 | 1,813,501,781 | △ 69,491,378 |
| 正味財産合計 | 1,749,852,903 | 1,819,344,281 | △ 69,491,378 |
| 負債及び正味財産合計 | 1,756,270,666 | 1,826,135,018 | △ 69,864,352 |

※資料／1. 新規資料一覧 2. 新規図書一覧

1. 新規資料一覧(基本財産収蔵品)

| 作者名 | 資 料 内 容 | 材質技法 | 形 状 | 員数 |
|-----|---------|------|-----|----|
|-----|---------|------|-----|----|

※空白枠は略記

○懷紙

| | | | | |
|------|---------------------------|------|----|---|
| 斎藤茂吉 | 山ふかく遊行をしたり仮初のものとなおもひ山は逢しも | 紙本墨書 | 懷紙 | 1 |
|------|---------------------------|------|----|---|

○原稿

| | | | | |
|------|----------------------------|----|---------|---|
| 斎藤茂吉 | 歌集『萬軍』(原稿Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ)、封筒(佐藤佐太郎筆) | 墨書 | 奉書紙3枚封筒 | 1 |
|------|----------------------------|----|---------|---|

○書

| | | | | |
|------|----------------------------|----|----|---|
| 斎藤茂吉 | すでにして蔵王の山の真白きを心だらひにふりさけむとす | 墨書 | 捲り | 1 |
|------|----------------------------|----|----|---|

○書簡

| | | | | |
|----------------|-----------------------------|-------|----|---|
| 斎藤茂吉 | 斎藤宗吉宛 3月10日(年不詳) | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤茂吉 | 斎藤宗吉宛 5月29日(年不詳) | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤茂吉 | 斎藤宗吉宛 12月23日(年不詳) | 墨書 | 書簡 | 1 |
| 斎藤茂吉 | 斎藤宗吉宛 (年月日不詳) | 墨書 | 葉書 | 1 |
| 斎藤茂吉・輝子・茂太・美智子 | 斎藤宗吉宛 2月3日(消印:23.2.3) | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤茂吉・輝子 | 斎藤宗吉宛 (消印:23.9.18)(推定) | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤茂吉・輝子 | 斎藤宗吉宛 10月2日(消印:23.10.2)(推定) | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤茂吉・輝子・昌子 | 斎藤宗吉宛 11月14日(消印:24.11.14) | 墨書・ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤茂吉・茂太・美智子 | 斎藤宗吉宛 (消印:25.5.26) | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤茂吉・輝子 | 斎藤宗吉宛 6月5日(消印:25.6.15) | ペン | 葉書 | 1 |

○遺品

| | | | | |
|------|---|---|--|---|
| 茂吉遺品 | 硯 | 石 | | 1 |
|------|---|---|--|---|

| | | | | |
|------|-----------------|--------|-------------|---|
| 茂吉遺品 | ブロッター(インク吸い取り器) | | | 1 |
| 茂吉遺品 | 器 | 陶器 | ゆるやかなひょうたん型 | 1 |
| 茂吉遺品 | 煙草? | 木・金属 | | 1 |
| 茂吉遺品 | 印 | 石 | 円柱 | 1 |
| 茂吉遺品 | シガレットケース | べっ甲 | | 1 |
| 茂吉遺品 | パイプ | 木・金属 | | 1 |
| 茂吉遺品 | 虫メガネ | ガラス・金属 | | 1 |
| 茂吉遺品 | 目打ち | 木・金属 | | 1 |

○斎藤茂吉以外／色紙

| | | | | |
|-----|-------------------------------------------------|----|----|---|
| 北杜夫 | リラックスすること！人生は長い。 | ペン | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 満たされぬ心にをれば小さき手に蟬を鳴かせて童来にけり | ペン | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | あの山もまたこの山もすでにして見なれし山か冬きたりつつ | ペン | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 涙たまるたまゆらにしてしらじらとさしくる月を見たり今宵は | ペン | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 山の湯にししまなこをつむりたり今のうつつの湯の流る音 | ペン | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | いつしかに季節の移りて見渡せば四方のはかなさ生けるもの土にひそみて佇めば音のともしさ | ペン | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 山風のつたふる夜は濁りたる硫黄の濁あみいつか眠りぬ | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | あけくれの忘却さへもかりそめとおもほえなくに冬の日のぼる | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 川水のうづまくを見て人の世のつひに寂しとひとりごちけり | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 霜夜氷りてゐたれ野の道をかゆきかくゆくころしらゆな | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 山すその灯のまたたきに今はただ恋ふる心にひたりしものを | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 夜半の風とどろきすぐるたまゆらにさしせまりくる断想ひとつ | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 黒いつぐみが鳴くゆふべ伏せた眸がさびしかる青い狭霧に銀の歌たどる小径がいとしかる | ペン | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | かさこそと落葉動きて入りくれば樹々の寂しさ | ペン | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 星が語った物語かげる心に迷ひ子は露の宿った草しとねわびしい窓の夢を織る | ペン | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | かなしいけどもの夢の中できれいな肉体を抱いたとてもへんでかなしくつて恥ずかしいようなことだった | ペン | 色紙 | 1 |

| | | | | |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|----|----|---|
| 北杜夫 | あはあはと光流れておのづから水に落ちこむ土手の雪の音 | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | わが胸のなぜにふるふやなぜにかくも三カ月の胎児のごとくをのくやそ は汝があやしきまでにたおやかなればなりあめわが肌は恋に変色しおど ろしくもジンマシン出づ | ペン | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | しはぶさは悲しからずや今肯きかば死にせし人をまぼろしに見つ | ペン | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 都の灯明かりければまた行く浮浪の人をみかへりにけり | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 「ジイジがぼくのキャンデーとった！」孫といさかうつかのまの幸 | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 男の人にいくら抱きついても子のできぬあたしのはかなさよいとしさよ 或 る女のために作りしたわむれの作 | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 冬もやはたちこめゐたりゆらゆらと白き日輪静かにのぼる | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 闇なればはかなきもののせまりきて寝ねがてなくにまなこをつぶる | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 疾風ふく夜ふけゆきてひっそりと赤き表紙の本閉ぢにけり | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 寂しさを堪へがたければ白樺の白皮をはぎぬあはれその色 | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 幼くて我の遊べるねこじゃらしの穂にいつる秋となりにけらずや | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | しまらくを冬野の果ての赤き赤き入日のいろをもだしつつ見る | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | つゆじもにかなしきことのよみがへる朝々にして何かなげかむ | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | つくづくとかのおもかげの恋しきは霧夜の闇の深きにやあらむ | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 星ぞらのいつくしきかもおのづから涙あふれつ国破れたり | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 病葉の過ぎにし人のおもはゆる頃としなりて日毎霜ふる | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | くちびるをかのもろ頬におしあてんとみだれ心の起ることあり | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | オタマジャクシは蛙の子ゴキブリは蛙の子じゃないなぜなら水の中では生 きられないから 「高みの見物」中のゴキブリ口人の作れる話しかし原作は何を隠そう | ペン | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 窓の外に星こそみたれひとときを野分は窓をゆりぬ野分は | ペン | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | いつか或る日山で死んだら古い山の友よ伝えてくれ ロジュ・デュブラ 北 杜夫 | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 母親には安らかだったと父親には男らしく死んだと ロジュ・デュブラ 北 杜夫 | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 伝えてくれいい妻におれが帰らなくとも生きてゆけと ロジュ・デュブラ 北杜夫 | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 息子たちにおれの踏跡がふるさとの岩山に残っていると ロジュ・デュブラ 北杜夫 | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 友よ山に小さなケルンを積んで墓にしてくれピッケル立てて ロジュ・デュ ブラ 北杜夫 | 墨書 | 色紙 | 1 |

| | | | | |
|-----|----------------------------------------------------------------------------|-------|----|---|
| 北杜夫 | 色紙五枚シリーズ デュブラ 山の詩シリーズ 60.9.19 | ペン | 色紙 | 4 |
| 北杜夫 | さ庭べにかはさずが鳴きて亡き母のつひの宿りの夜ぞふりまさる(推定) | 墨書 | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 宛名のない手紙を書いて破っては捨てる風に散るよ | ペン | 色紙 | 1 |
| 北杜夫 | 風景画 (杜夫画) | 水彩 | 色紙 | 2 |
| 北杜夫 | やぶかげに見つけた野ぶだうの青い実がやがて黒ずんでゆくだらう何日かの静寂を僕はそとと心の奥で思ってみる | 墨書 | 色紙 | 2 |
| 北杜夫 | ひそかにひめしむなうちのかなしきことをよみあげしいとしきうたはうつしよのひとになつげそほそほそとひとりやまじにくちずさむべしおのずからこころなごまむ | 墨書 | 色紙 | 2 |
| 北杜夫 | 生けるもの土にひそみて佇めば音のともしきかさこそと落葉うごきてさまよへば人の恋しさ | 墨書 | 色紙 | 2 |
| 北杜夫 | 君が帰ったそのあとで洋燈の色を見つめてた君の言葉のほのめきをまどろみながらしゃぶってた | 墨書 | 色紙 | 2 |
| 北杜夫 | おもひはしばしたたづむだらうあの唐松林の木屑のこぼれた切株に煙る雨にふくらんでゆくさ緑に閑古鳥も峽に呼びかはしたそんなゆふがたに | 墨書 | 色紙 | 2 |
| 北杜夫 | かさこそと落葉動きて入りくれば樹々の寂しさ 渡り鳥梢を去りて見あぐれば空の空しさ | 墨書 | 色紙 | 2 |
| 北杜夫 | きびしかりし冬逝かむとす静かなる雨の音ききひと日をこもる | 墨書 | 色紙 | 2 |
| 北杜夫 | ゆふべになつたらさまよふがよい消へようとする光を探すかのやうに一つめたさを沈めたくさむらの中を色褪せた風の生まれている中を一 | 墨書 | 色紙 | 2 |
| 北杜夫 | ゆるよしも今はなけれど昏れのこる山峽にして何か嘆かむ | 墨書 | 色紙 | 2 |
| 北杜夫 | くよくよするな。働らけ。かぎって、区切って、型違って、成熟しろ。トーマス・マン | ペン | 色紙 | 2 |
| 北杜夫 | いつしかに季節の移りて見渡せば四方のはかなさしんと幹冷くて寄りそへば息のかそけさ | 墨書 | 色紙 | 2 |
| 北杜夫 | ここにしてゆらげる心すみゆけりおのづからなる山の水の音 | 墨書 | 色紙 | 2 |
| 北杜夫 | 寂光 | 墨書 | 色紙 | 3 |
| 北杜夫 | これは海だ海というものだああその水は塩分に満ちている | 墨書 | 色紙 | 3 |
| 北杜夫 | 無地の心を奪はれたそれでどうやらいきてきた | 墨書・ペン | 色紙 | 3 |
| 北杜夫 | 人の世のこの寂しさを知りそめて幾夜か経たる降る雨のおと | 墨書 | 色紙 | 3 |
| 北杜夫 | すべては忘れはてるがよいと思ひつめた夜に夢はひそやかにつぶらな瞳の影を織ったまたしても痛々しく | 墨書 | 色紙 | 4 |
| 北杜夫 | 人はなぜ追憶を語るのであろうか | 墨書 | 色紙 | 5 |
| 北杜夫 | きれいなバラには刺があり汚ないバラにも刺がある | 墨書・ペン | 色紙 | 5 |

| | | | | |
|-----|-------------------------------------------------------------------|-------|----|---|
| 北杜夫 | あはあはと光ながれて斑雪岸边にしろし水の音さへかすかになりて枯野 辺にまなこつむればひそかなる希みこみあげ来む春の影を慕ひぬ | 墨書 | 色紙 | 5 |
| 北杜夫 | 檜落葉の音もこそすれ諦めに似てわが歩みここにとどまる | 墨書 | 色紙 | 5 |
| 北杜夫 | わたしの耳は貝のから海のひびきをなつかしむ コクトー | 墨書・ペン | 色紙 | 6 |

○斎藤茂吉以外／半切

| | | | | |
|-----|----------------------------|----|----|---|
| 北杜夫 | あかときのこの静けさや飯炊くと集めし杉の落葉のしめり | 墨書 | 掛軸 | 1 |
| 北杜夫 | 歌会始の歌 お題: 空 | 墨書 | 捲り | 1 |

○斎藤茂吉以外／短冊

| | | | | |
|-----|----------------------------------|----|----|---|
| 北杜夫 | 夜半の風とどろきすぐるたまゆらにさしせまりくる断想ひとつ | ペン | 短冊 | 1 |
| 北杜夫 | 目にて沁む光となりぬたちまちにつゆもり室開けつつ(推定) | ペン | 短冊 | 1 |
| 北杜夫 | おもかげを一人薫ひてあらくさのうらがる山に入りて来にけり(推定) | ペン | 短冊 | 1 |
| 北杜夫 | 髪のををいぢりてゐたりものなべて虚しきなかに年逃げむとす | ペン | 短冊 | 1 |
| 北杜夫 | 山すその息づくごとき灯を見つつ極まる心とどめかねつも | ペン | 短冊 | 1 |
| 北杜夫 | たらの芽をつみつつをればあはあはと思ひ出ることありまさになしく | ペン | 短冊 | 1 |
| 北杜夫 | まながなくひとり岩かげに入りにけり絶ゆることなき山の水の音 | ペン | 短冊 | 1 |
| 北杜夫 | 満たされぬ心にをれば小さき手に蟬を鳴かせて童来にけり | ペン | 短冊 | 1 |
| 北杜夫 | 涙たまるたまゆらにしてしらじらとさしくる月を思たり今宵は | ペン | 短冊 | 1 |
| 北杜夫 | あかときのこの静けさや飯炊くとあつめし杉の落葉のしめり | ペン | 短冊 | 1 |
| 北杜夫 | 岩かげに身を投げだせり山のうへにゆふぐれとして霧たちわたる | ペン | 短冊 | 1 |
| 北杜夫 | 淡々と光流れておのづから水に落ちこむ土手の雪の音 | ペン | 短冊 | 1 |
| 北杜夫 | 人の世のこの寂しさを知りそめて□夜□□たる降る雨の音 | ペン | 短冊 | 1 |
| 北杜夫 | 山かげのつたふる夜は濁りたる硫黄の湯あみいつか眠りぬ | ペン | 短冊 | 3 |
| 北杜夫 | 山の湯にしましなこをつむりたり今のうつつの湯の流る音 | ペン | 短冊 | 2 |
| 北杜夫 | 檜落葉の音もこそすれあきらめに似しわが歩みここにとどまる | ペン | 短冊 | 2 |

○斎藤茂吉以外／原稿

| | | | | |
|-----|------------------|----|------|---|
| 北杜夫 | 父っちゃんは大変人 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | マンボウ・マブゼ共和国 文華の日 | ペン | 原稿用紙 | 1 |

| | | | | |
|-----|---------------|-------|------|---|
| 北杜夫 | なんともはや雑然たる話 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 人さまざま | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 或る生 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 生活の変ること | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 初めての芝居 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 悪魔のくる家 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 素晴らしいぼくのおじいさん | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | まっくらけのけ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 優しい女房は殺人鬼 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 旧人類から新人類への逆襲 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 神河内 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 女性乗馬読本 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | マンボウ雑記帳 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 創作余話 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 親不孝旅日記 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 文明カイカのポルトガル | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 北京原人の謎 | ペン・鉛筆 | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 或る青春の日記 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | マンボウ交友録 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | マンボウ鬱病旅日記 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 精神病の新種について | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 日本独立国一覧など | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ドクトルマンボウ閑話 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | マンボウ百一夜、百一話 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 或る弔辞 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 遊びについて | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | いろんな冒険 | ペン | 原稿用紙 | 1 |

| | | | | |
|-----|---------------------|----|------|---|
| 北杜夫 | 日本と遊び | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 自分の小説にあやつられた男 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | マンボウ中南米に行く | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 白いオバケと赤いオバケ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ペガサスの国 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | さびしい老人 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 思い出の本(ファーブル昆虫記) | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 笹巻など | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 夕日とひげ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 小学校の先生 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 埴谷さんの大声 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 「いつもそばに本が」 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 常にやられっぱなしだったこと | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 手足は枯枝のように「死海のほとり」 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | テレビ朝日 田村番組 声ラン投書 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 雪山の幻想 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 原っぱ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 辻邦夫さんの遺著 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | わが街・仙台 食物などの思い出 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 『動物ごよみ』解説 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 戦うおじいちゃん | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 選評 | ペン | 原稿用紙 | 3 |
| 北杜夫 | 第三章 看護婦について | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 初歩の海外旅行の心得 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 少年時代の読書 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 私はなぜにして美人編集者を激怒させたか | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 茂吉あれこれ | ペン | 原稿用紙 | 1 |

| | | | | |
|-----|--------------------|----|------|---|
| 北杜夫 | 「ヴェニスに死す」の技法 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | すばらしい彼女と最悪の彼女 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 消滅 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 海彼への憧れ | ペン | 原稿用紙 | 2 |
| 北杜夫 | 星のない街路 あとがき 初校 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 夜光虫 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | およそダメなあたしの夫 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 親不孝パリ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 人生の岐路 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 茂吉と本 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 乗物あれこれ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 酒のつまみについて | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 初めてのドイツにて | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 星の王子さま（サン＝テグジュペリ作） | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 親というもの | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 穂高の思い出 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | アルプス追想 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 私の町 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 「縄文時代と森」「COSMOS」 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 私の健康観 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 木製の家屋 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ひとこと以上 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 外国郵便のこと | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ファーブル昆虫記推薦文 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 地球の生物 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ことばの贈り物 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 怪盗ジバコの復活 まえがき | ペン | 原稿用紙 | 3 |

| | | | | |
|-----|--------------------------------|----|------|---|
| 北杜夫 | 怪盗ジバコの復活 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | トーマス・マンの技法 ―主としてその伏線のはり方について― | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 氷河の動く音 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 新大陸発見 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 瀬戸に浮かぶ四人の小国 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | マンボウ夢草紙 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 生活保護申請 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 百人一首 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 虫の飼育 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 読書感想文について | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 阿川弘之「亡き母や」 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 新人 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 「楡家」の裏側 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 「航海」前後 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | どんど焼き | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | はしがき | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 自転車の多い街 ロッテルダムの港 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 花二題 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 密林 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | あとがき 平成 23 年 8 月 19 日軽井沢にて | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 或る死 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | (マンボウ)最後のむざんな博打旅巡行 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | マンボウ最後のむざんな博打業者 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 性もしぼみゆき平和島競艇 ―大井競馬場よりも性に目ざめたこと | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | いざ、韓国のカジノへ。 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 最後のやけっぱちの博打旅行者 まず□□とギャンブルの国へ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 羽田空港の蝙蝠 | ペン | 原稿用紙 | 1 |

| | | | | |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|------|---|
| 北杜夫 | 都会 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | とんでもない男 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | いとしき妻(連作50首) | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 水の音 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 千家の総合性 千宗文芸「六角形の部屋」 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | マンボウ・マブゼ共和国 賞状文章原稿・文華勲章 遠藤周作様・非芸術院会員 島地勝彦様(週刊プレイボーイ編集長)・飢餓救済賞 東浦彰殿(講談社)・マンボウ賞 小林信彦様・マブゼ賞 篠田一士氏・シーソー賞 小島喜久江さま | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 酔いどれ船 (1970年1月3日稿) 第三章また一人の叔母の物語 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 灰色の影のなかで | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 神々の消えた土地(推定) | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 思いどおり | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 船長 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 柳の下 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | アカバ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | お初釜 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | けだものは…… | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 原っぱ・墓地・書物 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | どくとるマンボウ小笠原へ行く | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ドクトルマブゼの大予言 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ドクトルマブゼ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 根津山 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | トーマス・マンの映画 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 茶がら | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | みずうみ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 遊びではない遊び方 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 短歌知らずが歌を語る | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 道 | ペン | 原稿用紙 | 1 |

| | | | | |
|-----|-----------------------|-------|------|---|
| 北杜夫 | 満足と不満 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 私の読書の思い出 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 大太鼓の出港 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 弔辞 平成 13 年 1 月 26 日 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 悼宮脇俊三さん | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | クルージング | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ギャンブル | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ギャンブル ー遙かなマカオの思い出 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 思い出の本 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 松本の思い出 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 私の読書遍歴 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 解説 (塚本邦雄「茂吉秀歌」) | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 乗馬と競馬 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 一人の運転手さん | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 同人誌の頃 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 端役の端役の弁 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | QⅡの母との旅 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 星新一の思い出 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 私の三つの本 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 昔の山形への旅 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 日本人のユーモアのなさ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 宮脇さんの思い出 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ドリコー | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ちょうど八十歳 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 病気について | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | おおらかな人間性 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | どくとりマブゼの株式大作戦 株で損をする法 | ペン・鉛筆 | 原稿用紙 | 1 |

| | | | | |
|-----|--------------------------|----|------|---|
| 北杜夫 | 辻邦夫さん | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 移民のこと | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 茂吉と汗 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 書き初めの頃 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | カヴァ 酒雑話 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | しゃれたタッチ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 信州の味 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 弓場バレエ団 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 弓場バレエ団 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 推薦文 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 少女趣味な名 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | やはりムネン！ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 阪神ついに破れたり？ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 松本の思い出など | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 精神的食漫 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | わたしの 7 月 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 雑観 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 1976 年附記 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | カラコルムにて | ペン | 原稿用紙 | 2 |
| 北杜夫 | 野田岩のウナギ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ゴタマゼに | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 戦争がない | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 「間切りの孫二郎」への期待 ―なだ・いなだ君へ― | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 一夜 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | おもしろいセン | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 偉大なるエネルギー | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | くたばれジャイアンツ | ペン | 原稿用紙 | 1 |

| | | | | |
|-----|----------------------|----|------|---|
| 北杜夫 | 人見知りなのが | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 暴言を含めたマンボウたわごと集(その9) | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 即位の日に思ふ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 私の寝室の変遷 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 牧神の午後への前奏曲 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 勤勉はナマケモノ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | トニオ・クレーガーその他 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 存在しただけのピアノ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ゴーガンの息子 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 狂気、それからトボトボと二十一年 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 映画と馬 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ずる休み | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 阪神タイガースについて | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | マブゼ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 外人殿様のお伊勢参り | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 会津若松の二つの宿 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 茂吉ゆかりの温泉 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 今年のタイガースに望む | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ナマケモノの話 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | うす汚れた話 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 奇妙な子供 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | チンパンジーへの挑戦状 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 貴族である月の乞食 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 酔っぱらい将棋 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 本物の狂人 | ペン | 便箋 | 1 |
| 北杜夫 | 帰った日には | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 遠藤さんのこと | ペン | 原稿用紙 | 1 |

| | | | | |
|-----|----------------------|----|------|---|
| 北杜夫 | ドナウ河 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | なぜもの書きになったか | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 本屋あれこれ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 蝶のおじさん | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | マンボウ出鱈目泰西旅日記 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | マンボウ南太平洋をゆく | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 暴言を含めたマンボウたわごと集(その8) | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 一人の昭和っことして | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 森茉莉さんのこと | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 小さなレストラン | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 輝ける碧き空の下で | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 井上靖「少年・あかね雲」解説 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 意外にすらすらと | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 川田順と斎藤茂吉 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 神童 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ユーモア感覚というものについて | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 私とおばけ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 我が家の味 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 若い皆様へ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 少女ファンの心 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 天文学者と昆虫学者 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ロタ島ひるね旅 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 掛布選手のこと | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ベースキャンプでの野点 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 阪神との関係 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 大御馳走 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 社交ダンス | ペン | 原稿用紙 | 1 |

| | | | | |
|-----|---------------------------|----|------|---|
| 北杜夫 | 嫌煙権 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 孫ニモ負ケズ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | マンボウスports記 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | どくどくマンボウ医局記 第1章～第3章 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | タヒチの思い出 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 生き残りの記 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 英語版のはしがき | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | (私の宝物)佐藤愛子さんとの一夜 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 虎年を祝う | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 同人雑誌の俗っぽい思い出 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 阪神は勝つ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | スティーヴン・キング『クワイ』永井淳訳(新潮文庫) | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 解説(その2) | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 滑稽と悲惨 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 苦節いろいろ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 老人ボケについて | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 柳川の旅など | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 松本時代の思い出から | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | エルサレムの街 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ウナギ・ワサビ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 冒険精神と私 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 自分だけの愉しみ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | お地蔵さま | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 星から落ちた迷い子 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 「ふるさとの四季」用原稿 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ブラジル移民の小説を終えて | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 夢一夜 | ペン | 原稿用紙 | 1 |

| | | | | |
|-----|-----------------------------------|----|------|---|
| 北杜夫 | 乾期と雨期の間 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 青年の幼児化 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | すばらしき仲間たち | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | すばらしき文学の友 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 北海道と馬 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | さすが大巨人 敵ながらあっぱれ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 今年の阪神タイガースは猛虎再現か | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 羽田国際空港の税関 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 電話のインタビュー | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ストレスのことなど | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 南太平洋の島々と藤森秀雄氏 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 私の青春時代 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 恋愛と結婚について | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 楽器と私 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | あとがき（昭和 52 年 2 月 12 日深夜午前五時二十分記す） | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | マブゼ(1) | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 現代の高校の皆さんへ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | ちょっと難行 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 甲子園の詩 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 親父と娘 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 初めてのバリ | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | なだいなだ氏の思い出 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 海外ケチン坊精神 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | たった三つの言葉 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | トーマス・マンと私 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 「小さな羽音」を推す | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | マンの三冊 | ペン | 原稿用紙 | 1 |

| | | | | |
|------|-------------------------|----|------|----|
| 北杜夫 | ビッグコミックス | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 阪神ファンの苦悩 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | もつとも駄目な後輩の思い出 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 月と10セント余話 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 新聞小説と私 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 新鮮な息吹き | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 躁鬱病の正しい治し方ー或は、大VIPについてー | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 蛇頭、蛇尾 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 最良 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | マンボウ酔族館 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 原稿 無題・題自由 | ペン | 原稿用紙 | 42 |
| 斎藤由香 | わたしの海への憧れ（その2） | ペン | 原稿用紙 | 1 |

○斎藤茂吉以外／絵図

| | | | | |
|-----|----------|----------|-----|---|
| 北杜夫 | 絵画 | 油彩・水彩・ペン | 画用紙 | 9 |
| 北杜夫 | 風景画（杜夫画） | 水彩 | | 2 |

○斎藤茂吉以外／書

| | | | | |
|------|-----------------------|------|----------|---|
| 中林梧竹 | 金湯増重 梧竹（印譜:「堡居士」「梧竹」） | 紙本墨書 | 半切（捲り裏打） | 1 |
|------|-----------------------|------|----------|---|

○斎藤茂吉以外／書簡

| | | | | |
|-------------------------|---------------------------|----|-----|---|
| 斎藤輝子・茂太・美智子・章二 | 斎藤宗吉宛 5月21日（消印:23.5.21） | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉宛 2月9日（消印:25.2.9）（推定） | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤輝子・昌子・茂太・美智子 | 斎藤宗吉宛（消印:27.2.20） | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤西洋・輝子・茂太・美智子・茂一・章二・恵子 | 斎藤宗吉宛 1958年12月22日 | ペン | 絵葉書 | 1 |

| | | | | |
|-----------------------|-------------------------------|----|-------|---|
| 斎藤輝子・ 茂太・美智子 | 斎藤宗吉宛（消印:34.1.9） | ペン | エアメール | 1 |
| 斎藤輝子・ 茂太・美智子 | 斎藤宗吉宛（消印:59.11.13） | ペン | 封書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・喜美子宛 3月21日（消印:1962） | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・喜美子宛 3月29日（消印:1965） | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・喜美子・由香宛 昭和40年7月26日 | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・喜美子宛（消印:41.9.7） | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・喜美子宛 昭和42年2月14日 | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・喜美子宛 8月28日（消印:30.8.1967） | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・喜美子・由香宛 昭和42年10月2日 | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子・ 杉村春子 （推定） | 斎藤宗吉・喜美子宛 2月7日（消印:8.2.71） | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・喜美子宛 2月17日（消印:18.2.71） | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・喜美子宛 昭和48年4月18日 | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・喜美子・由香 昭和53年1月10日 | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤由香 昭和53年1月10日 | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉宛 昭和56年2月26日 | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・喜美子宛 2月13日（年不詳） | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・美智子・由香宛 2月13日（年不詳） | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・喜美子宛 2月15日（年不詳） | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・喜美子・由香宛 6月10日（年不詳） | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子・ 茂太・美智子・昌子 | 斎藤宗吉宛 6月17日（年不詳） | ペン | 封書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・喜美子宛 7月14日（年不詳） | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・喜美子・由香宛 7月14日（年不詳） | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・喜美子・由香宛 7月24日（年不詳） | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子・ | 斎藤宗吉・喜美子宛 8月6日（年不詳） | ペン | 絵葉書 | 1 |

| | | | | |
|-------------------------|--------------------------------|-------|-----|---|
| 茂太 | | | | |
| 斎藤輝子・茂太 | 斎藤宗吉・喜美子・由香宛 8月13日(年不詳) | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・喜美子・由香宛 8月18日(年不詳) | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・喜美子宛 9月26日(年不詳) | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 北杜夫・美智子宛 10月9日(年不詳) | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・喜美子・由香宛 10月15日(年不詳) | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・喜美子宛 (年月日不詳) | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 斎藤宗吉・喜美子・由香 (年月日不詳) | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤茂太・宇田俊一 | 斎藤宗吉宛 (消印:25.3.1) | 印刷・ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤茂太 | 斎藤宗吉宛 (消印:28.2.25) | | 電報 | 1 |
| 斎藤茂太・美智子・茂一・章二・宗吉・恵子・徹三 | 斎藤輝子宛 (消印 1960.10.11) | ペン | 封書 | 1 |
| 斎藤茂太・美智子・宗吉 | 斎藤輝子宛 '60.10.20 | ペン | 封書 | 1 |
| 斎藤茂太・章二・美智子・徹三・恵子。茂一 | 斎藤輝子宛 '60 11月27日 | ペン | 封書 | 1 |
| 斎藤茂太・美智子 | 斎藤宗吉・美智子・ベビー嬢宛 16日(消印:17.4.62) | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤茂太 | 斎藤宗吉・喜美子宛 昭和40年 | 印刷 | 封書 | 1 |
| 斎藤茂太 | 斎藤宗吉・喜美子宛 昭和43年9月 | 印刷 | 封書 | 1 |
| 斎藤茂太 | 斎藤宗吉宛 10月1日(消印:44.10.2) | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤茂太 | 斎藤喜美子 昭和50年 | 印刷 | 封書 | 1 |
| 斎藤茂太 | 斎藤宗吉宛 9月2日(消印:90.9.3) | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤茂太 | 斎藤宗吉宛 (消印:89.2.6) | コピー | 封書 | 1 |
| 斎藤茂太 | 北杜夫宛 1990年11月4日 | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤茂太 | 斎藤宗吉宛 1997年1月24日 | ペン | 葉書 | 1 |

| | | | | |
|---------------------|-------------------------|-----|-------|---|
| 斎藤茂太・ 美智子 | 斎藤宗吉宛 3月18日 | コピー | 封書 | 1 |
| 斎藤茂太・ 美智子 | 斎藤宗吉宛 6月16日(消印:□.6.17) | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤茂太・ 美智子・昌 子 | 斎藤宗吉宛 10月30日(年不詳) | ペン | 葉書 | 1 |
| 北杜夫 | 横山喜美子宛 (消印:25.6.30) | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 北杜夫 | 金子晶子宛 (消印:31.11.27) | ペン | 葉書 | 1 |
| 北杜夫 | 横山喜美子宛 (消印:59.8.13) | ペン | エアメール | 1 |
| 北杜夫 | 横山喜美子宛 (消印:59.10.13) | ペン | エアメール | 1 |
| 北杜夫 | 横山喜美子宛 昭和35年4月12日 | ペン | 封書 | 1 |
| 斎藤宗吉 | 渡辺重蔵・きみ宛 (消印:39.9.14) | ペン | 葉書 | 1 |
| 北杜夫 | 金子信郎・昌子宛 (消印:44.9.4) | ペン | 封書 | 1 |
| 斎藤宗吉 | 斎藤喜美子・由香 1977年4月24日 | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 北杜夫 | 岩波書店岩波文庫の方御中 1999年11月1日 | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 北杜夫 | 横山美枝宛 2月25日(年不詳) | ペン | 封書 | 1 |
| 北杜夫 | 朝日新聞社宛 (消印:平2.7.21) | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤宗吉 | 斎藤喜美子宛 (年月日不詳) | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤宗吉 | 斎藤喜美子宛 (年月日不詳) | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 北杜夫 | (宛先、日時不明) | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| | 年賀状 (1992～1998年) | | | 1 |
| 宮尾百子 | 斎藤宗吉宛 6月22日(消印:□.6.23) | ペン | 封書 | 1 |
| 斎藤昌子・ 宮尾百子 | 斎藤宗吉宛 (消印:□.11.13) | ペン | 葉書 | 1 |
| 宮尾百子 | 斎藤宗吉宛 (年月日不詳) | ペン | 便箋 | 1 |
| 斎藤昌子 | 斎藤宗吉宛 (消印:3.9.26) | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤昌子 | 斎藤宗吉宛 1月19日(消印:24.□.□) | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤昌子・ 美智子 | 斎藤宗吉宛 1月21日(消印:24.1.2) | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤昌子 | 斎藤宗吉宛 2月20日(消印:24.2.19) | ペン | 葉書 | 1 |

| | | | | |
|-------------|----------------------------|----|--------|---|
| 斎藤昌子 | 斎藤宗吉宛 7月10日(消印:24.7.10) | ペン | 葉書 | 1 |
| 金子昌子 | 斎藤宗吉宛 5月9日(消印:39.5.10) | ペン | 封書 | 1 |
| 金子昌子・ 信郎 | 斎藤輝子宛 (消印:66.10.13) | ペン | エアメール | 1 |
| 金子昌子 | 斎藤輝子宛 (消印:60.10.25) | ペン | エアメール | 1 |
| 金子昌子 | 宮尾匡子 9月27日(消印:4.9.28) | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 金子昌子 | 斎藤喜美子宛 5月13日(年不詳) | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 金子信郎・ 昌子 | 斎藤宗吉・喜美子宛 11月5日(消印:□.11.6) | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤昌子 | 斎藤宗吉宛 (年月日不詳) | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤美智子 | 斎藤宗吉宛 9月30日(消印:24.9.30) | ペン | 封書 | 1 |
| 斎藤由香 | 斎藤宗吉・喜美子宛 (消印:1987.8.21) | ペン | ポストカード | 1 |
| 斎藤章二 | 斎藤喜美子 ('16.11.7) | 印刷 | 封書 | 1 |
| 斎藤恵子 | 斎藤宗吉・喜美子・由香宛 (消印:26.4.74) | ペン | ポストカード | 1 |
| 斎藤恵子 | 斎藤宗吉・喜美子宛 '71.8.28 | ペン | ポストカード | 1 |
| 斎藤恵子 | 斎藤家宛 1974.4.3 | ペン | ポストカード | 1 |
| 斎藤恵子 | 斎藤喜美子宛(消印:84.1.2□) | | 葉書 | 1 |
| 斎藤恵子 | 斎藤喜美子宛 4月2日(消印:84.4.2) | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤恵子 | 斎藤宗吉・喜美子・由香宛(消印:86.1.3) | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤恵子 | 北杜夫宛 1987年3月23日 | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤恵子 | 斎藤喜美子宛 1987.4.14 | ペン | 封書 | 1 |
| 斎藤恵子 | 斎藤喜美子宛 1987年10月29日 | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤恵子 | 斎藤喜美子宛 1987年11月3日 | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤恵子 | 斎藤喜美子宛 (消印:62.11.16) | 写真 | 封書 | 1 |
| 斎藤恵子 | 斎藤喜美子宛 1987年11月15日 | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤恵子 | 斎藤宗吉宛 1987年秋 | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤恵子 | 斎藤喜美子宛 (年月日不詳) | ペン | ポストカード | 1 |

| | | | | |
|---------------|----------------------------|----|-------|---|
| 斎藤恵子 | 斎藤喜美子宛 | | 葉書 | 1 |
| 宇田俊一 | 斎藤宗吉宛 3月17日(消印:25.3.18) | 墨書 | 封書 | 1 |
| 宇田俊一 | 北杜夫宛 7月23日(消印:32.7.23) | 墨書 | 封書 | 1 |
| 宮尾直哉 | 斎藤宗吉宛 (消印:37.6.20) | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 斎藤淑子 | 斎藤宗吉宛 8月17日(年不詳) | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤美智子 | 斎藤喜美子・由香宛 4月3日(年不詳) | ペン | 封書・写真 | 1 |
| 斎藤和子 | 斎藤由香宛 (消印:19.8.23) | ペン | 葉書 | 1 |
| 斎藤和子 | 斎藤由香宛 (消印:07.10.1) | ペン | 封書 | 1 |
| 高村光太郎 | 斎藤茂吉宛 2月29日(消印:23.3.6) | ペン | 葉書 | 1 |
| 金子昭雄 | 北杜夫宛 (年月日不詳) | ペン | 封書 | 1 |
| 山上次郎 | 北杜夫宛 平成5年7月8日 | ペン | 封書 | 1 |
| 橋本富美子 | 北杜夫宛 1995.1.14 | ペン | 葉書 | 1 |
| 小島喜久江 (推定) | 北杜夫宛 (消印:1959.1.23) | ペン | 封書 | 1 |
| 武田頼 | 北杜夫宛 (消印:88.12.5) | ペン | 葉書 | 1 |
| 興振(推定) | 北杜夫宛 11月11日(消印:88.11.11) | ペン | 葉書 | 1 |
| 本林勝夫 | 北杜夫宛 3月8日(消印:88.3.8) | ペン | 葉書 | 1 |
| 藤岡武雄 | 北杜夫宛 (消印:63.10.11) | ペン | 葉書 | 1 |
| 堤精二 | 斎藤宗吉 (消印 87.10.10) | ペン | 葉書 | 1 |
| 菰澤栄一 | 北杜夫 5月16日、20日(消印:89.5.20) | ペン | 封書 | 1 |
| 片岡寿雄 | 北杜夫宛 1989.1.14 | ペン | 封書 | 1 |
| 服部あい子 | 斎藤宗吉宛 1月21日(消印:27.1.22) | ペン | 封書 | 1 |
| 串田孫一 | 北杜夫宛 平成12年5月1日 | ペン | 葉書 | 1 |
| 俵万智 | 北杜夫宛 (消印:00.5.4) | ペン | 絵葉書 | 1 |
| 横山薫二 | 斎藤宗吉宛 5月12日(消印:35.5.12) | ペン | 封書 | 1 |
| 横山薫二 | 斎藤宗吉宛 14日(消印:20.9.59) | ペン | エメール | 1 |
| 横山薫二 | 斎藤宗吉宛 昭和39年4月4日(消印:39.4.4) | ペン | 葉書 | 1 |
| 横山薫二 | 斎藤宗吉宛 12月3日(年不詳) | ペン | 絵葉書 | 1 |

| | | | | |
|---------|-------------------------|-------|--------|---|
| 横山薫二 | 斎藤宗吉宛 5月4日(消印:35.5.4) | ペン | 封書 | 1 |
| 横山薫二 | 斎藤宗吉宛 昭和35年5月16日 | ペン | 封書 | 1 |
| 渡辺不二夫 | 斎藤由香宛 | 手紙・写真 | 封書 | 1 |
| 渡辺不二夫 | 斎藤由香宛 (消印:21.10.26) | ペン | 葉書 | 1 |
| 三浦英子 | 斎藤由香宛 (年月日不詳) | 手紙・写真 | 封書 | 1 |
| 三浦俊作 | 斎藤由香宛 10.17(年不詳) | 手紙・写真 | 封書 | 1 |
| 篠田一士 | 北杜夫宛 (消印:88.11.13) | ペン | 葉書 | 1 |
| 野島秀勝 | 北杜夫宛 (消印:88.11.13) | ペン | 葉書 | 1 |
| 高野泰久 | 北杜夫宛書簡・新聞記事 | | | 1 |
| 小島政治郎 | 佐藤宛書簡(年不詳、3月24日) | ペン | 原稿用紙 | 1 |
| 服部葉子 | 斎藤由香宛 9月25日(消印:07.9.25) | ペン | 封書 | 1 |
| 秋葉四郎 | 斎藤喜美子・由香宛 17.4.1 | ペン | 封書 | 1 |
| 板垣一雄・律子 | 斎藤由香宛 10月12日(年不詳) | ペン | 封書 | 1 |
| 三浦 庸 | 北杜夫宛 7月12日(年不詳) | ペン | 封書 | 1 |
| 小田まゆみ | 北杜夫宛 (消印:3.8.'92) | ペン・印刷 | 封書 | 1 |
| 柴田朗 | 北杜夫宛 (消印:4.3.12) | ペン | 封書 | 1 |
| 岡田朝雄 | 北杜夫宛 9.19(年不詳) | ペン | 葉書 | 1 |
| 玉井茂 | 北杜夫宛 10.1(年不詳) | ペン | 葉書 | 1 |
| 本林勝夫 | 北杜夫宛 11月20日(年不詳) | ペン | 葉書 | 1 |
| 菰澤栄一 | 斎藤宗吉宛 6月3日(消印:5.6.4) | ペン | 封書 | 1 |
| ヒサクニヒコ | 北杜夫追悼カード | 印刷 | ポストカード | 1 |
| 不詳 | 斎藤宗吉宛 (消印:21.11.62) | ペン | 絵葉書 | 1 |
| | 名刺(アメリカ) | 紙 | 名刺 | 1 |
| | 定期預金メモ 昭和17年6月 | ペン | カード・封書 | 1 |
| | 斎藤宗吉結婚式招待状 | 印刷 | 封書 | 1 |

| | | | | |
|--------------|-------------|----|--------|---|
| | 住所変更通知 | 印刷 | 葉書 | 1 |
| 北杜夫・斎藤宗吉・喜美子 | 住所変更通知 | 印刷 | 葉書 | 2 |
| 不明 | メッセージカード | ペン | | 1 |
| 旧制高等学校記念館 | 企画展「北杜夫と松本」 | 印刷 | ポストカード | 1 |
| | 未使用葉書 | 印刷 | 葉書 | 1 |
| 斎藤輝子 | 遺言 | ペン | | 1 |

○斎藤茂吉以外／その他(書籍・拓本・写真等)

| | | | | |
|--------|-----------------|-------|-------|---|
| 渡辺幸造旧蔵 | 斎藤茂吉 エジプト土産 | 布 | | 1 |
| 守谷廣吉 | 守谷伝右衛門形見分け送付用木箱 | 木製・墨書 | 木箱・蓋付 | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 手帳① | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 手帳② | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 手帳③ | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 手帳④ | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 手帳⑤ | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 手帳⑥ | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 手帳⑦ | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 手帳⑧ | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 手帖⑨ | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 手帖⑩ | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 手帖⑪ | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 手帖⑫ | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 手帖⑬ | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 手帖⑭ | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 手帖⑮ | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 手帖⑯ | | | 1 |

| | | | | |
|----------------------------|--------------------------------------------------------------------|----|---------------|---|
| 北杜夫旧蔵 | 日記① 昭和 41 年 8.21～昭和 47 | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 日記② 昭和 50 年 5.29～昭和 51 | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 日記③ | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 日記④ 1969.10.21～27 | | | 1 |
| 訳者 関泰 祐 望月市 恵 | トオマス・マン 魔の山 上 昭和 24年8月 5 日発行 | 印刷 | 上 装 本・ 単行本 | 1 |
| 斎藤茂太 | 人生は思い立ったら旅支度 いくつになっても感動探し 1992 年12月 30 日発行 | 印刷 | 並 装 本・ 単行本 | 1 |
| 斎藤茂太 | 心に良いこと悪いこと 一モタさんの人生の知恵袋 1990 年 12 月 21 日 | 印刷 | 上 装 本・ 単行本 | 1 |
| 斎藤茂太 | モタさんの笑いの精神学 昭和六十二年一月十六日 | 印刷 | 上 装 本・ 単行本 | 1 |
| 斎藤茂太 | ママさまは不思議の人 昭和六十一年二月二十五日 | 印刷 | 上 装 本・ 単行本 | 1 |
| 斎藤茂太 | 茂吉の体臭 昭和三十九年四月二十七日 | 印刷 | 上 装 本・ 単行本 | 1 |
| 斎藤茂太 北杜夫 | この父にして 昭和 51 年10月 30 日 | 印刷 | 上 装 本・ 単行本 | 1 |
| 斎藤茂太 | 精神科医三代 昭和 46 年 1 月 25 日 | 印刷 | 並 装 本・ 新書 | 1 |
| 北杜夫 | どくとるマンボウ昆虫記 平成 5 年 3 月 25 日 43 刷改版／初版昭和 41 年 5 月 30 日 | 印刷 | 並 装 本・ 文庫本 | 2 |
| 斎藤茂太 | 茂吉の周辺 昭和六十二年一月十日 | 印刷 | 並 装 本・ 文庫本 | 1 |
| 斎藤茂太 | 快妻物語 昭和四十一年九月十日 | 印刷 | 上 装 本・ 単行本 | 1 |
| 佐藤佐太郎 | 茂吉解説 1977 年 11 月 30 日 | 印刷 | 上 装 本・ 単行本 | 1 |
| 斎藤茂太 | モタさんの交友術 1988 年 12 月 9 日 | 印刷 | 上 装 本・ 単行本 | 1 |
| Amy Vladeck Heinrich | Fragments of Rainbows -The Life and Poetry of Saito Mokichi - 1983 | 印刷 | 上 装 本・ 単行本 | 1 |
| 北杜夫 | 寂光 昭和 56 年 4 月 20 日 | 印刷 | 上 装 本・ 単行本 | 2 |
| 田中隆尚 太田一郎 中村稔 | 共同討議 斎藤茂吉の世界 | 印刷 | 上 装 本・ 単行本 | 1 |

| | | | | |
|----------------|--------------------------------------------------------------|----|--------------------|---|
| 真壁仁 | 斎藤茂吉の風土 蔵王・最上川 | 印刷 | 上装本・ 単行本 | 1 |
| 坂井修一 | 斎藤茂吉から塚本邦雄へ | 印刷 | 上装本・ 単行本 | 1 |
| 斎藤輝子 北杜夫 | 快妻オバサマ VS 躁児マンボウ | 印刷 | 上装本・ 単行本 | 1 |
| 藤田朋夫編 | 斎藤茂吉の人間と芸術 | 印刷 | 単行本 | 1 |
| 信州大学全 学教育機構 | 信州大学新入生ハンドブック 2019 | 印刷 | 冊子 | 1 |
| | 寮歌集 松本高等学校 | 印刷 | 冊子 | 1 |
| | 北杜夫の詩による六つの歌 | 印刷 | 冊子 | 1 |
| | NHKBS プレミアムドキュメンタリードラマ マンボウと家族のユーモア闘病記(仮) | 印刷 | 冊子 | 1 |
| | アラビアンナイト 素晴らしき冒険 | 印刷 | 並装本・ 単行本 | 2 |
| | ぼくのおじさん 台本 | 印刷 | 冊子 | 1 |
| | 写真 | 写真 | | 1 |
| | アルバム(北杜夫・喜美子結婚式、新婚旅行) | 写真 | アルバム (緑、皮 製) | 1 |
| | アルバム(上高地) | 写真 | アルバム (茶、皮 製) | 1 |
| | アルバム(北杜夫生涯総括) | 写真 | アルバム (青) | 1 |
| | アルバム(斎藤由香幼少期) | 写真 | アルバム (赤、箱 入) | 1 |
| メモ類 | ペン | | | 1 |
| 北杜夫 | 寄贈名簿 | | | 1 |
| | 原稿 未揃い・書き損じ | ペン | | 1 |
| 北杜夫 | メモ用紙 | ペン | | 1 |
| 北杜夫 | スケッチ (鳥海山:1992.5.15) | 鉛筆 | 原稿用紙 | 1 |
| | 北杜夫氏 最後のソウ病となる 危険! 近寄るべからず 電話してきても 応答するべからず 昔は親しかった編集者 KU | ペン | 厚紙 | 1 |
| 北杜夫 | 下書き | 墨書 | | 1 |

| | | | | |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----------|---|
| 福本章 | 斎藤輝子肖像画 | 油絵 | キャンバス・額装 | 1 |
| | Heavyweight Championship of the Woeld MADISON SQUARE GARDENS MORIOKITA VS CASSIUS CLAY | 印刷 | 額装 | 1 |
| 服部雪斎 | マンボウ | 印刷 | 額装 | 1 |
| | 感謝状 | 印刷 | 額装（賞状） | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物(馬) | 木・毛 | | 2 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物(馬) | 木 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物(スプーン) | 木 | スプーン | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物(ガラス玉) | ガラス | 球 | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物(ハリネズミ) | ガラス | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物(ふくろう) | 陶器 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物 | 陶器 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物 | 陶器 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物 | ガラス | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物 | 石 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物(靴) | 陶器 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物(靴) | 陶器 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物(靴) | 金属 | | 2 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物(人形) | 陶器 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物(人形) | 木 | | 2 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物(人形) | 木 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物(人形) | 土？ | | 1 |

| | | | | |
|--------|-----------|--------|---------|---|
| 品 | | | | |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物(横顔) | 木 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小皿 | 陶器 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物(小皿) | 陶器 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物(壺) | 金属 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物(壺) | 木 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物入れ | 陶器 | 円柱(蓋付き) | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物入れ | 陶器 | (蓋付き) | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 小物入れ | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 器(小皿) | 陶器 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 器(角皿) | 陶器 | 角皿 | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | コップ(蓋付) | 陶器 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | プレート | プラスチック | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | スプーン | 金属 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 花瓶 | 陶器 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 花瓶 | 陶器 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | キャンドルスタンド | 真鍮 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | アイスパケツ | ステンレス | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | ボトルストッパー | 金属 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 調味料入れ | 陶器 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 文華勲章 | | | 1 |

| | | | | |
|--------|-------------------------|-------|-----|---|
| 北杜夫旧蔵品 | 煙草 | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | マブセ煙草 | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | マブセ国コイン | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | マブゼ共和国建国由来記 | 印刷 | 単行本 | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 文華の日勲章 | | 勲章 | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | マンボウ・マブゼ共和国紙幣 3 種 | 印刷 | 紙幣 | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 「買邸 50 億円…」 | ペン | 画用紙 | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 位記(従四位) | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 旭日中綬章 | | 賞状 | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 褒章飾板 (平成 27 年 9 月 30 日) | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 褒章 (平成 25 年 8 月 31 日) | | | 1 |
| 世田谷区 | 特別文化功労章 | | 賞状 | 1 |
| 慶應義塾大学 | 学位記:医学博士 | | 賞状 | 1 |
| 日本将棋連盟 | 免状 | 墨書 | 賞状 | 1 |
| 日本将棋連盟 | 免状 | 墨書 | 巻物 | 1 |
| | 感謝状(財団法人ハワイ移民資料保存館) | 印刷・墨書 | 賞状 | 1 |
| | 第 25 回 大佛次郎賞受賞トロフィー | 金属 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | オブジェ | 金属 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 外国貨幣 | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 石 | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | キーホルダー | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | ブローチ(葉) | 金属 | | 1 |

| | | | | |
|---------------|-------------------------------|------|-----|---|
| 北杜夫旧蔵品 | タヒチネックレス | 金属 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | パイプ | 陶器 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | カレンダー | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 時計 | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 創作資料(童話その他) | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | コーエン材料 | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 斎藤宗吉レントゲン写真 | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 北杜夫 似顔絵(デッサン) | 鉛筆 | 画用紙 | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 新聞ゲラ | 印刷 | 封筒 | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 新聞切り抜き | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 日本赤十字社産院産科病歴 | コピー | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 契約書 | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 血液型検査成績 | | | 1 |
| 三輪勇四郎 中條道夫 | 日本産鞘翅目分類目録 | | 冊子 | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 劇団「樹座」 第5回公演パンフレット | | 冊子 | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | TSUIISO 2011年12月2日・12日 No.140 | 印刷 | 冊子 | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | Canon Circle No.256 1981年10月号 | 雑誌 | 冊子 | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | ジャケット | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | カバン | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | 灰皿 | 金属 | | 2 |
| 北杜夫旧蔵品 | 温湿度計 | 金属・木 | | 1 |

| | | | | |
|--------|------------------------------------|-----|--|---|
| 北杜夫旧蔵品 | メモ帳 | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵品 | ぼんぼり | | | 1 |
| 手塚治虫 | セル画 | | | 5 |
| 鈴木博 | 「娘よ」 | | | 2 |
| 北杜夫旧蔵 | 小物(人形) | | | 2 |
| 北杜夫旧蔵 | 絵皿 | 陶器 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 皿 (わたしの耳は貝のから海のひびきをなつかしむ コクトー 北杜夫) | 陶器 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 小物入れ | 金属 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | フィルムカメラ | カメラ | | 2 |
| 北杜夫旧蔵 | 運転免許証 | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 水筒 | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | コンパス | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 爪とぎ | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 腕時計 | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | ネクタイピン | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 眼鏡(茶) | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 目眼鏡(焦げ茶) | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 御守 | | | 3 |
| 北杜夫旧蔵 | インク | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 印鑑 | | | 3 |
| 北杜夫旧蔵 | 印 | | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | 落款 | 石 | | 1 |
| 北杜夫旧蔵 | パスポート | | | 3 |
| 北杜夫旧蔵 | 財布 | | | 1 |

2. 新規図書一覧

著者・編集名

斎短歌会
長尾 七生
吉村 実紀恵
影山 美智子
波 克彦
内藤 明
丸地 卓也
倉沢 寿子
清水 美織
岡山 巖
斎藤茂吉 Peter Pantzer
秋葉 四郎
御供 平佑
天童短歌会年刊歌集編集委員会
内藤 明
岩間 啓二
河田 育子
大辻 隆弘
豊田 純子
大内 美智子
遠山 勝雄
村上 のりあき
島崎 榮一
中川 宏子
昭和十九年の会アンソロジー
村野 次郎
浦河 奈々
川下 俊文・鶴田 奈月・田村 隆
加藤 健司
中根 誠
関根 文範
内田 弘
田中 穂波
一ノ関 忠人
冬雷短歌会
榊原紘、斉藤志歩、暮田真名
道浦 母都子
道浦 母都子
中村 征子
山形県歌人クラブ年刊歌集編集委員会

寄贈資料名

斎短歌会 合同歌集 もちずり 第九集
歌集 花の向かうに
歌集 バベル
歌集 白梅玄冬
歌集 新世紀
歌集 三年有半
歌集 ファイルム
歌集 彦星の舟
歌集 エマイユの煌めき
歌集 岡山巖全歌集
Wanzenagebuch
随想茂吉
歌集 羽交
年刊歌集 第六十集
抒情の構造 -喪われた〈故郷〉の相位
歌集 七文半の足あと
歌集 光の素顔
椽と石垣 大辻隆弘歌集
歌集 春蘭丘
歌集 山頂へ
歌集 銀のちろり
歌集 冬物語
歌集 秋霜
歌集 かぼちやに変はる
モンキートレインに乗って ファイナル
村野次郎全歌集
歌集 硝子のあひる
第一高等学校と感染症 -1904年の腸チフス流行-
歌集 方程式じゃ愛は解けない
歌集 鳥の声
歌集 このひこのみちこのみさき
現代の写実Ⅱ
歌集 ぬるい水
歌集 さねさし曇天
冬雷二〇二三 作品年鑑・合同歌集
詩 IA
歌集 あふれよ
歌人探訪 挽歌の華
歌集 犬の耳
年刊歌集 第四十二集 二〇二四年度版

| | |
|---------------------|-----------------------------------|
| 小島 ゆかり | 歌集 はるかなる虹 |
| 松田わこ・松田梨子・松田徹・松田由紀子 | 歌集 ソナタを弾こう |
| 赤井 千代 | 歌集 海の天女 |
| 村田 夫紀子 | 歌集 ある日突然 |
| 古谷 智子 | 歌集 春にして君を離れ |
| 塔短歌会・東北 | 4766 日目 東日本大震災から十三年を詠む |
| 石関 かつ子 | 歌集 御衣黄ざくら |
| 川本 千栄 | 歌集 裸眼 |
| 高山 邦男 | 歌集 Mother |
| 松田 慎也 | 歌集 出で立つ |
| 田口 豊陽 | 歌集 夜空の傷に絆創膏 |
| 小島 ゆかり | サイレントニャー 猫たちの歌物語 |
| 笠原 真由美 | 宇宙に呼吸する -光本恵子の歌と人生 |
| 松本 達雄 | 歌集 海彼 |
| 吉田 久枝 | 歌集 林の朝はゆるやかに明く |
| 山本 文子 | 歌集 御茶ノ水橋 |
| 国民文学年刊歌集編集委員 | 国民文学年刊歌集 令和六年版 |
| 渡部 洋児 | 歌集 メモリー |
| 石田 明彦 | 歌集 ロードノイズ |
| 久保 みどり | 歌集 空はパレット |
| 増田 チサ子 | 歌集 富士に暮らして |
| 居駒 永幸 | ふるさと・みちのくから考える -歌・祭り・未来 |
| 杉中 雅子 | 歌集 ザ★家族Ⅲ「メッセージ」 |
| 島田 章平 | 歌集 百歳の母 句集 ほたるの宿 |
| 光本 恵子 | 2024 年版・未来山脈選集 |
| 府川 富造 | 歌集 鳶 |
| 椿 一郎 | 椿一郎 三歌集 |
| 酒折連歌賞実行委員会 | 言の葉連ねて歌あそび |
| 北神 照美 | 歌集 水の旗 |
| 中川 佐和子 | 尾崎左永子論 冷えた翳と鮮烈な朱色 |
| 堀 隆博 | 歌集 遊離する地平へ |
| 小見山 輝 | 小見山輝第七歌集『花祭』 |
| 繁田 達子 | 歌集 聴花残日抄 |
| 寺井 淳 | 歌集 埒にいる鳥 |
| 後藤 すみ子 | 歌集 鮫の体温 |
| 長澤 ちづ | 歌集 時の舳先 |
| 平賀 富美子 | 歌集 土偶の禱り |
| 兵庫県歌人クラブ | 年刊歌集 第 64 集 |
| 日本歌人クラブ | 日本歌人クラブアンソロジー2024 年版 第 25 集 現代万葉集 |
| 長澤 洋子 | 記憶のとびら『庭のソクラテス』その後 父加藤克己の周辺 |
| 龍短歌会 | 龍短歌会第 23 合同歌集『韻』 |
| 大澤 澄子 | 歌集 いつの日か幸せになっていいけれど今すぐなっかまわな |

岸田 佳子
林 祐一
山中 千瀬
井出 和枝
横山 岩男
横山 岩男
波 克彦
菅原 貞夫
あづま 洋子
横山 季由
長友 くに
志野 暁子
大辻 隆弘
天野 陽子
伊藤 松溪
大辻 隆弘
三浦 政博
米倉 歩
天童短歌会年刊歌集編集委員会
片山 佳代子

いのよ
歌集 わたしの歩幅
歌集 Curriculum Vitae / ポリクリノート
歌集 死なない猫を継ぐ
歌集 彩時季
展望 栃木の歌壇
遺稿集 奇跡の時
歌集 赤き峡谷 21 世紀歌人シリーズ
歌集 水瓶座
歌集 海を渡る列車
短歌上達のヒント
歌集 歳月の罅
歌集 ひかりのごとき
私性とリアル 短歌時評 08-20
歌集 ぜるぶの丘で
歌集 二上山 當麻寺より
短歌の「てにをは」を読む
歌集 君も唄へよ
歌集 日本語中級 1 クラス
年刊歌集 第六十一集
歌集 八月の書架

**2024(令和 6)年度
斎藤茂吉記念館年報
-通巻第 40 号-
[2024/4 ～ 2025/3]**

2025(令和 7)年 12 月 15 日発行

編集・発行

公益財団法人斎藤茂吉記念館

〒999-3101 山形県上山市北町字弁天 1421

TEL 023-672-7227 FAX 023-672-2626

URL <https://www.mokichi.or.jp>

※年報は本号 40 号より当館公式ウェブサイト
上での PDF データの公開のみとなります。